

官報

號外

大正七年三月十七日 日曜日

印刷局

第四十回 衆議院議事速記録第二十四號

帝國議會

鹿兒島縣大島郡島嶼町村制撤廢二關スル建議

(委員長報告)

大正七年三月十六日(土曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第二十三號 大正七年三月十六日

午後一時開議
市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正

法律案 (政府提出) (族院送付)

第一讀會

第二十二 (特別報告第百一十三號) 東鄉村ニ登記所設置 (委員長報告)

(委員長報告)

第一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三狩獵法改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續 (委員長報告)

第二十一 (特別報告第百二十四號) 元佐倉區裁判所復舊 (請願)

(委員長報告)

第四臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續 (委員長報告)

第二十 (特別報告第百一十七號) 古賀村ヲ長崎區裁判所管内二編入ノ請願

(委員長報告)

第五自動車事故ノ責任ニ關スル法律案 (高木益太郎君提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十四 (特別報告第百一十八號) 小牛田石巻間ノ私設輕便鐵道ヲ國有經營ト爲スノ請願

(委員長報告)

第六山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案 (白石直治君外)

第一讀會 (委員長報告)

第二十三 (特別報告第百二十六號) 元水口區裁判所復舊 (請願)

(委員長報告)

第七衛生行政ノ中樞機關擴大ニ關スル建議案 (荒川五郎君提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第百二十七號) 古賀村ヲ長崎區裁判所管内二編入ノ請願

(委員長報告)

第八福井縣三國港築港ニ關スル建議案 (熊谷五右衛門君外四名提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第百二十九號) 日立木村ニ停車場設置 (請願)

(委員長報告)

第九信越線碓氷鐵道改良ニ關スル建議案 (工藤善助君外六名提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第百三十號) 平元鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第十水產教育振興ニ關スル建議案 (外五名提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第百二十一號) 羽越海岸線酒田秋田間鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第十一市町村吏員優遇ニ關スル建議案 (外三名提出)

第一讀會 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第百二十二號) 池田川之江間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第十二津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案 (外一名提出)

第一讀會 (委員長報告)

第三十 (特別報告第百二十三號) 池田川之江間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命シマス

(書記朗讀)

一貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

(郡松恵提出)

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第一號) 大正六年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號) 大正六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市町村吏員優遇ニ關スル建議案

(奥田榮君提出)

小山東助君

山珠一君 井原百介君

第十八沖繩縣特別自治制撤廢ニ關スル建議案 (奥田榮君提出)

葉煙草耕作組合三交付金下付ニ關スル建議案委員會

委員長 松浦 五兵衛君 理事

高田 宗吉君
中川 隣之輔君

久留米大分間鐵道建設ニ關スル建議案委員會

委員長 松田 源治君 理事

大藪 房次郎君
大藪 房次郎君

名古屋太田間鐵道速成ニ關スル建議案委員會

委員長 三輪 市太郎君 理事

堀尾 茂助君
堀尾 茂助君

愛媛縣今治港開港ニ關スル建議案委員會

委員長 古谷 久綱君 理事

松田 三徳君
松田 三徳君

神戸市内鐵道改良急施ニ關スル建議案委員會

委員長 廣岡 宇一郎君 理事

横田 孝史君
横田 孝史君

勞動保險法制定ニ關スル建議案委員會

委員長 木下 謙次郎君 理事

龍正 雄君
龍正 雄君

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

第一 改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

第一 改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(國務大臣岡田良平君登壇)

○國務大臣(岡田良平君) 御承知ノ通リニ一般官吏ノ恩給法ハ、俸給ノ何分ノ幾ツヲ支給スルト云フ事ニ規定ガナツテ居リマス、然ルニ市町村立小學校教員ノ退隱料ハ、俸給何圓以上何圓以下ニ對シテ、退隱料何圓ヲ支給スルト云フ事ニ、一々金額ニ依テ規定致シテ御坐イマス、然ルニ今回俸給令ノ改正ヲ致スト云フコトニナリマシタニ依テ、之ニ伴ヒマシテ恩給退隱料ノ金額ヲ増加致スノ必要ヲ生ジテ參リマシタニテ、即チ此法律案ヲ提出致シマシタ譯テ御坐イマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレント希望致シマス

○荒川五郎君 簡單ニ二箇條ノ質問ガアリマス
(荒川五郎君登壇) 登壇ヲ希望致シマス

○荒川五郎君 唯今議題ニナツテ居ル市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正案ハ、即チ教員優待案ノ一ニ外ナラヌノアリマスガ、併シ此中ニハ同シ教員ト云ウテモ、教員ノ中ニハ正教員、准教員、其能代用教員、雇教員等ガアリマシテ、其教員中ノ正教員ノミニ從來ハ恩給ヲ與ヘテ優待シテ居ツタノアリマスガ、茲ニ改正セラル、ニ方ダテハ、准教員ハ如何ニセラル、ノデアリマスカ、曩ニ市町村立小學校教員俸給國庫負擔法が出来マシテ、同シ市町村立小學校教員トアリマス、其ノ教員ノ中ニハ正教員ノ外准教員モ含マレテ居マス、是ハ勿論其ノ通リテ無クテハナラナイノテ、普通ニ教員ト言ヘバ、准教員モ含ムベキモノデアル、然ルニ同シ國家ノ法律テ名稱ハ同シテ、而モ其ノ

内實が違フト云フ事モ妙アリマスルシ、又准教員ハ正教員ト同シク、之ニ相當ナ優待ヲスルト云フコトハ、極メテ必要ナ事ト思フノアリマス、近年漸次准教員ノ數ハ減リツアリマスケレドモ、併シ一方ニハ代用教員雇教員ト云フヤウナモノモ少クナインテアリスカラ、若シ准教員ヲ優待シ獎勵スル途ヲ開イタナラバ、此等無資格ノ教員モ漸次修養シ、試験ヲ受ケテ准教員トナリ、進シテ正教員トナルヤウニナラテ、今日教員多大ノ缺乏ヲ感シテ居ル折柄ニ際シテ、之ヲ優待シ、漸次有資格ノ正教員ヲラシムルト云フ事ハ極メテ必要ト考ヘマスガ、政府案ノ趣旨ハ此案ニハ准教員ハ含マナイノアリマスカラ、曩キ國庫負擔法ニハ准教員が含マレテ居ルが、之ニハ含マレスト云フノアリマスカラ、若シ然リトスレバ、准教員モ之ニ含マレタ方が至當思フノアリマス、若シ單獨ニ准教員ノ地位ノミニテハ出來ストシタナラバ、准教員テハ之ヲ給シナイデモ、准教員ヨリ進シテ正教員ニナシタ者ハ、准教員ノ勤務年月ヲ通算シテ恩給年月ニ加フルト云フ事ニシタナラバ、准教員ハ進シテ正教員ニナルヤウニ、教育ノ進歩教員ノ補充ニ大ニ利益アル事ト思ヒマス、彼ノ軍隊ニ於テ兵役ナルモノハ、國家ノ義務トシテ服スルモノデ、官吏モ公吏モナイケレドモ、其兵役ノ年月ヲ下士官ノ勤務年限ニ通算スルト云フヤウナ例モアル、況ヤ准教員ハ立派ナル小學校教員ニ違ヒナインアリマスカラ、准教員其者ヲ單獨ニ認メテ恩給ヲ與ヘナイトシテモ、准教員が正教員ニナシタ場合ハ、其准教員在職ノ年月ヲ通算スル事ニシテ、漸次進シテ無資格ノ教員が准教員ニモナリ、准教員ハ正教員ニテ其意思ハ無イノアリマスカ、是が第一ニアリマス、第一ニ高等ノ教育者——大學其他高等專門ノモノニ付テハ、漸次優待ノ途が開カレテ、勅任教授ノ如キハ非常ニ今日進ムヤウナ途ヲ開クト云フコトハ、今日適當ト思フノアリマスガ、政府ハ本案改正ニ付

他高等專門ノ教員ト云フコトハ、此案ノ如キ又國庫負擔法ノ如キモノヲ以テ、優待セラレツ、アルニ拘ハラズ、此中間ニアル中等教育者ハ全く開却セレタル感ガアルノアリマス、國家ノ中堅ヲ健全ニ作ル、此中等教育ニ任ズル重大ナル任務アル中等教員ヲ、政府ハ果シテ如何ニセラル、カ、此際併セテ中等教員ヲ優待スルコトニ付テ、政府ハ何カ計畫セラル、所ハナイカ、教育ノ進歩發達ヲ圖ル上ニ於テハ此中等教員モ重視すべきハ必要コト、思ヒマス、政府ノ計畫果シテ如何、茲ニ併セテ其説明ヲ求メタイ以上二點ニ付テ政府ノ答辯ヲ求メマス

〔國務大臣岡田良平君登壇〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今荒川君カラ御質問ノ御坐イマシタ准教員ニ關スル點ニアリマスガ、此法律ニ於キマシテハ、准教員ノ退隱料ヲ設ケルト云フ事ニハナシテ居ルニ小學校ノ教員ト云フモノニ、何故退隱料ノ恩典ガ及バヌカト申シマスルト、要スルマセヌ、元來准教員ト云フモノニ、是ハ例外ノ場合ト云フ立前ニナシテ居リマス、ソレ故ニ從來退隱料ト云フモニアリマス、是ハ國庫負擔法ト申シマスルノハ、市町村ノ教育費ノ負擔ヲ、國庫ニ於テ分担タウノハ、特別ノ場合ノ外ハ准教員ニ及バヌ事ニナシテ居ルノ御坐イマス、然ニ先日ノ義務教育費國庫負擔法ニ於キマシテハ、准教員ト云フモノモ矢張目安ノ中入レテ通算スルト云フコトニ致シマシタ、是ハ主義ガ貫カヌデハナイカト云フ御疑モ、御尤ノ事ト思ヒマスが、此國庫負擔法ト申シマスルノハ、市町村ノ教育費ノ負擔ヲ、國庫ニ於テ分担タウノハ趣旨御坐イマスルニ依テ、成ベク町村ノ資力ノ薄弱ナル所ニ、比較的多くノ國庫支出金ノ及ブヤウニ致シタル事、サレタル要點ハ、從來此保護鳥ノ制度ヲ全ク反對ノ側カラ規定シテ狩獵鳥ノ制度ニ改任シテ居リマスルト云フヤウナ場合ト雖モ、之ニ向テ相當ノ支出金ノ及ブヤウニ致シタ

イト云フ、斯様ナル精神カラ准教員ミ矢張標準ト致シマシテ、國庫支出金ヲ配當致スト云フコトニ致シマシタ譯テ御坐イマス、ソコテ荒川君ノ御說ハ、將來准教員ニ退隱料ヲ支給スルト云フノ法ヲ設ケズモ、准教員ニ在職シタ其年數ヲ、退隱料ノ計算上通算スルト云フコトハ、適當ナ事デハナイカト云フ御說ガ御坐イマシタ、是ハ確ニ御說トシテハ御尤ナ御說ニ承リマシタノ御坐イマス、此點ニ付キマシタハ、當局者ニ於テ豫テ考慮ヲ致シテ居ル事デ、或ハ他日サウ云フヤウナ事ニ及バストモ申サレマセヌガ、併シ是ハ中々複雜ナ計算ニナリマスルシ、規定ノ上ニ於テモ極メテ複雜テ御坐イマスルカラ、唯今之ヲ如何ニ致スト云フコトヲ斷言致スコトハ出來兼不テ居リマスノ御坐イマス、免ニ角將來ニ向テ是ハ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第一ノ御尋ハ、大學其他ノ専門學校ノ教授ニ劉シテハ、相當ノ優遇ノ途モ出來タヤウテアル、又小學校ニ向テモ相當ノ優遇ノ途が出來タノニ、中等學校ヲ度外ニ置クト云フコトハ、如何ナルモノナルカト云フ御尋テ御坐イマシタガ、勿論是ハ中等學校ヲ度外ニ置ク譯テハ御坐イマセヌノデ、既ニ御承知ノ通ニ昨年ノ暮ニ於キマシテ、中等學校ニ對スル所ノ優遇ノ制モ設ケマシタノアリマス、併シ之ヲ以テ滿足致ス譯テハ御坐イマセヌニ依テ、尙ホ將來ニ於テハ、此中等學校教員ノ優遇三關シテハ、當局者ハ十分ニ考慮致ス考ヲ持テ居リマスノ御坐イマス

○議長(大岡育造君) 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレントラ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマスカ

○議長(大岡育造君) 「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ

○漆昌巖君 東京市區改正條例中改正法律案外一件ノ委員會ヲ開キタウ御坐イマスカラ、許可ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス——日程第三、狩獵法改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長清室太郎君

〔拍手起ル〕

○清室太郎君 委員會ノ顛末ヲ御報告致シマス、現行ノ狩獵法ハ明治四十三年ノ制定ニアリマシテ、其中獵期ニ關スル部分丈ガ……

○富島暢夫君 是ヨリ決算委員會ヲ開キマス

○清室太郎君 部分丈ガ明治四十二年ニ改正サレテ居リマス、現在ノ法律中ニ最モ不備ナルモノハ何カト云ヘバ、此狩獵法ノ如キモノハ、其中ノ最タルモノデアルト考ヘテ居リマス、此度政府が全體三瓦ル改正案ヲ提出サレタ事ハ、尤モナル次第ト存シマシテ、大體ニ於テ此案が一般カラ歡迎サレテ居ル次第アラウト思ヒマス、而シテ其改正ヲサレタル要點ハ、從來此保護鳥ノ制度ヲ全ク反對ノ側カラ規定シテ狩獵鳥ノ制度ニ改メタ事ト、サレカラ二十年來實際家學者ノ間ニ於テ問題ニナシテ居リマシタル獵區ノ制

度ヲ新タニ設ケタ事、ソレカラ料金ノ改正及獵區ノ一部分ニ追加ヲ加ヘタ事、罰則ノ改正等ニアリマス、此改正案ヲ見マスルト、マダ中々完全ナル域所デハナイ、不備ノ點が多數アルト思フノアリマス、併ナガラ之ヲ一々修正審議致シマスルト云フト、此會期切迫シテ居ル場合ニ於テ、到底貴族院マデノ通過ヲ希望スルコトガ出來マセス、不成立ニ終ルト云フコトヲ遺憾ニ思ヒマシテ、修正無シニ大體ニ於テ原案ヲ認メタ譯デアリマス、此原案ト雖モ現行法ニ較ベマスレバ、遙ニ進歩シタルモノデアリマスルが故ニ、委員會ニ於テハ此不成立ヲ虞レテ、先づ不備デハアルガ、現行法ニ較ブレバ餘程進歩シタルモノデアルト云フ點デ、同意ヲ致シタ次第デアリマス、近來此野生ノ鳥獸が著シク減少致シマシタ、此儘テ置キマスルト云フト、或種類ノ如キハ近ク數年ノ間ニ絶滅スルカモ知レヌ、サウ云フ事が獨リ此狩獵家ノミナラズ、林業農業ニ多大ノ關係ノアルト云フコトハ、明カナル事實デアリマス、併ナガラ今日マテ比較的此狩獵ノ事が閑却サレテ居リマシテ、十分ナル研究ノ居イテ居ラスト云フコトハ、深ク遺憾トル所デアリマス、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ、此大切ナル問題ヲモウ少シ調査研究ヲシテ、完全ニ近キ案ヲ實行シテ貰ヒタイト云フヤウナ事柄カラ、原案ニ修正ヲセビニ其儘通過スルト同時ニ、希望條件ヲ一二附シマシタ、其條件ヲ朗讀致シマス「一、野生鳥獸ノ保護繁殖圖ルハ農業及林業上極メテ緊急ノ事ナリトス依テ政府ハ相當ノ方法ニ基キ狩獵ニ關スル調査研究ヲ遂ケ其成案ノ實行ヲ期スヘキコト」「一獵區ハ之ヲ公開シ個人又ハ團體等ノ獨占ヲ許サル方針ヲ以テ施行細則ノ制定ヲ爲スヘキコト」「一、主務官廳及各地方廳ニ狩獵取締官吏ヲ置クコト」此三箇條ノ希望ヲ付シテ原案ヲ可決致シタ次第デアリマス、尙ホ一言致シタイコトハ、此獵區ナルモノハ一十年來ノ問題デアリマシタガ、幸ニ此度之ヲ政府が設置スルコトヲ提案致シマシタ、之ニ付テハ委員會モ一同同意ヲ表シタ譯デアリマスルガ、唯、獵區設置ト云フ規定丈ガ本法ニアリマシテ、此獵區ヲ如何ニ處分スルカト云フコトが規定シテアリマセス、隨ツテ折角設置サレタ所ノ獵區ガ一部富豪家成金ノ連中ニ獨占サレルト云フコトハ、社會上甚ダ宜シクナイコトデアリマシテ、之ヲ豫メ豫防スルヤウニ施行細則ニ於テ、嚴密ニ規定ラシテ貰ヒタイト云フコトデアリマシテ、即チ第二ノ希望ヲ持ヘタ譯デアリマス、委員會ニ於テモ此等ノ事ヲ參酌致シマシテ、即チ第一ノ希望ヲ持ヘタ譯デアリマス、斯ノ如クシテ原案ヲ可決致シマシタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス
〔拍手起ル〕

○議長（大岡育造君） 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮詢致シマス——御異議ハアリ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ、本案ハ二讀會ヲ開コトニ決シマシタ

○岩崎勲君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り、可決確定セラレントコトヲ希望致シマス

○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔拍手起ル〕

○議長（大岡育造君） 本案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○議長（大岡育造君） 御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ本案ノ二讀會ヲ開キ議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

狩獵法中改正法律案

第一讀會（確定議）

〔拍手起ル〕

車其ノ他ノ車輛ニ之ヲ準用ス
〔高木益太郎君登壇〕

(拍手起立)

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ本案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勲君 直ニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確

定セラレント希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直ニ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致

シマス

臺灣銀行法中改正法律案

第一讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハニ讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ可

決確定セラレント宣告致シマス

○中村啓次郎君 此場合、朝鮮銀行及興業銀行法中改正法律案ノ委員會ヲ開キ

タイト思ヒマス御許シヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス——日程第五、自動車事故ノ責任ニ關スル法

律案、提出者高木益太郎君

第五 自動車事故ノ責任ニ關スル法律案(高木益太郎君提出)

第一讀會

自動車事故ノ責任ニ關スル法律案

第一條 鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動車ノ運轉ニ因リ他人ニ損

害ヲ加ヘタルトキハ運轉手ニ過失アリタルモノト推定ス

第二條 自動車ノ所有者又ハ占有者ハ運轉手ト連帶シテ其ノ不法行為ニ因

ル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

民法第七百十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニハ之ヲ適用セス

第三條 自動車ノ運轉ニ因リ他人ヲ死傷セシメタルトキハ運轉手ハ速ニ附

近ノ警察官ニ其ノ事實ヲ申告シ應急救護ノ處置ヲ爲スヘシ

運轉手前項ノ義務ヲ怠リ逃走シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮若ハ

千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 警察署長ハ自動車事故ニ付關係人ニ對シ仲裁又ハ和解ヲ試ムルノ

權ヲ有ス

第五條 警察署長ハ被害者ノ鄰佑二名以上ノ立會ニ依リ仲裁又ハ和解ニ關

スル調書ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

前項ノ執行ニ關シテハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

○高木益太郎君 次ニ自動車運轉ノ濫用横行ニ依リ、發生シタル傷害致死其他ノ事故ニ付、之が責任ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ簡明ニ申上ケマス、本員ハ屢々委員會ニ於テ政府ニ對シテ自動車取締ノ必要ヲ述べ、尙ほ親友ノ高見代議士ハ過日ノ本會ニ於テ此點ニ付キ熱心有益ナル御演説ガアリマシタ、政府ハ必ず相當ノ提案ガアルベキ次第アル、今日迄控ヘテ居リマシタ所ガ、或ハ政務多端ノ爲メアルカ、マタ何等ノ提案ガナインハ本員等ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、仍テ已ムヲ得ズ茲ニ本案ヲ提出シテ、諸君ノ御審議ヲ煩シタイ次第ニアリマス、固ヨリ此問題ハ通行人及ビ運轉手双方ノ注意ノ外、根本的ノ解決ト致シマシテハ、市區ノ改正ヲ行フテ、歩道車道ノ區劃、道路ノ擴張、安全地帯ノ設置等、種々ナル方法ハアリマスケレドモ、中ニ是等ノ事柄ハ其解決が容易デナインデアリマスカラ、目下應急策ノ一方法ト致シマシテ、茲ニ本案ヲ提出致シマシテ、日本ノ如キ不完全ナル道路ニ、歐米ノ新式ノ交通機關ヲ運轉スル者ノ責任ヲ重クシ、以テ往來交通ノ不安ヲ減シ、都市住民ノ危險ヲ少クシタインガ此提案ノ趣旨デアリマス、其第一ハ自動車ノ運轉ニ因リ通行人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ、運轉手ニ一應過失アリタルモノト推定ス、即チ一般民法ノ原則ト違ヒマシテ、一般ノ民法デアレバ、損害賠償ヲ請求スル者ニ舉證ノ責任ガアリマスカラ、自動車ハ人間普通ノ歩行ヨリハ早イモノデアリマスカラ、運轉手ニハ其危險ヲ避ケシメンが爲メニ、普通ノ注意ヨリハヨリ以上ノ注意ヲ取フシムル義務ヲ負ハシテ、即チ損害賠償ノ點ニ付キマシテハ、一應運轉手ニ過失アルモノト認メ、過失ガナイト云フコトニアレバ、運轉手ノ方ニアラ當ノ注意ヲ盡シト云フ反對證據ヲ擧ゲンシムル、斯ウ云フ法律ヲ拘ヘルノガ必要ニアラウト考ヘマス、第一ニハ自動車ノ持主ハ運轉手ト連帶シテ其不法行為ニ因ル損害ヲ賠償スル責ニ任スル、是ハ運轉手ノ選任ニ付、普通ノ場合ヨリハ一層慎重ノ注意ヲ望ムハ、運轉手ニ一應過失アリタルモノト推定ス、即チ一般民法ノ原則ト違ヒマシテ、一般ノ民法デアレバ、損害賠償ヲ請求スル者ニ舉證ノ責任ガアリマスカラ、損害ノ發生シタル場合ニ於テ、賠償ノ名アリテ實ガナイヤウナ事がアリマシテハ、被害者ノ爲メニ甚ダ氣ノ毎デアリマス、而シテ一方持主ノ方ハ資力ノ裕カナ者ガ澤山ナノデアリマスカラシテ、持主ノ方デ不熟練不注意亂暴ナ運轉手ヲ抱ヘテ、左様ナ者ニ容易ク自動車ヲ供給シ使用セシメタル責任ヲ、負ハセルノガ必要ニアラウト信ジマス、即チ持主ト運轉手ト連帶シテ運轉手ノ不法行為ニ依ル損害賠償ノ責ヲ負ハセルト云フコトガ必要デアラウト考ヘマス、亞米利加ノ「コンネチカット」州ノ自動車法ニ依ルト、他人ノ身體物品ノ毀損ニ付テハ、損害額ノ三倍ノ罰金ヲ取ルコトニナシテ居リマス、是等モ御参照ノ上御審議ヲ願ヒタインデアリマス、第二ハ自動車ノ運轉ニ因リ他人ヲ死傷セシメタルトキハ、運轉手ハ速ニ附血ガ附着シテ居タト云フコトデ、遂ニ其運轉手ヲ捕ヘタト云フコトハ諸君ノ御記憶ニ新タル所デアル、又某ト云フ華族ガ泥醉シテ自動車ヲ驅リ、人ヲ傷ケテ逃ゲテ仕舞フタルト云フコトガアリマス、實ニ不徳義ト言ハウカ、不埒千萬ト言ハウカ、言語道斷ノ所シテ逃ゲテ仕舞ツタ、翌日警察が全力ヲ注イテ捜査シテ見ルト、直輪ニナマノシタ

シテ近ノ警察官ニ其事實ヲ申告シ、應急救護ノ處置ヲナスベシ、近頃甚ダ怪シカラスノハ、自動車ノ轢キ逃ゲト云フコトガ流行政シマシテ、海軍ノ樞要ナル地位ニ居ル方ヲ轢キ放シテ逃ゲテ仕舞ツタ、翌日警察が全力ヲ注イテ捜査シテ見ルト、直輪ニナマノシタ

シテ一般公衆ノ完寧ヲ保ツ爲メニ、取締規定ノ必要ガアル、苟モ人ヲ怪我サセタ時ニハ、人道ノ上カラ申シマシテモ、運轉手ハ附近ノ警察官ニ其事實ヲ申告シ、應急救護ノ處置ニ爲デアル、斯ノ如キ事故が頻々トシテ出でテ參ツタ以上ハ、是等ノ被害者ノ利益ヲ保護シ、

第六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第八條 警察署長ハ被

第九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第十三條 警察署長ハ被

第十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第十八條 警察署長ハ被

第十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第二十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第二十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第二十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第二十三條 警察署長ハ被

第二十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第二十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第二十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第二十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第二十八條 警察署長ハ被

第二十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第三十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第三十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第三十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第三十三條 警察署長ハ被

第三十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第三十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第三十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第三十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第三十八條 警察署長ハ被

第三十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第四十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第四十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第四十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第四十三條 警察署長ハ被

第四十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第四十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第四十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第四十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第四十八條 警察署長ハ被

第四十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第五十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第五十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第五十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第五十三條 警察署長ハ被

第五十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第五十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第五十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第五十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第五十八條 警察署長ハ被

第五十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第六十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第六十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第六十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第六十三條 警察署長ハ被

第六十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第六十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第六十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第六十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第六十八條 警察署長ハ被

第六十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第七十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第七十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第七十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第七十三條 警察署長ハ被

第七十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第七十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第七十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第七十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第七十八條 警察署長ハ被

第七十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第八十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第八十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第八十二條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第八十三條 警察署長ハ被

第八十四條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第八十五條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第八十六條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クル權利ヲ有ス

第八十七條 本法ハ鐵道又ハ軌道ニ依ラスシテ走行スル自動自轉車、自轉車、馬

第八十八條 警察署長ハ被

第八十九條 調書ヲ作成スルコトヲ得

第九十條 調書正本ハ強制執行ニ付テハ執行文ノ付與ヲ得タルモノト同一ノ

效力ヲ有ス

第九十一條 警察官ハ犯罪ノ用ニ供シタル自動車ヲ差押フルコトヲ得

被害者ハ前項ノ自動車ノ上ニ他

議ス「御承知ノ通り先般政府ヨリ提出サレマシタ鐵道敷設法中法律案、其案が議ニ上リマシタ節、修正ヲ加ヘテ觀音寺池田間、俗ニ曼陀線ト言ヒマスガ、アレヲ否決シテ元ノ通り池田琴平間に引直シタ修正ヲ致シタ、大多數ヲ以テ修正ヲ可決致シマシタガ、其當時修正ノ理由ヲ私ガ此所デ述ベマシタ、其第一ノ理由ハ曼陀線ト言ヒ、元ノ琴平池田線ト云ヒ、均シク四國縱貫鐵道ノ一部アル、其四國縱貫鐵道ノ緊要部ハ高知縣ニ達スル池田山田間デアルソレヲ差措イテ他ノ部分ヲ第一期線ニ繰込ムト云フノハ、緩急本末ヲ誤ツタモノデアルト云フノガ第一ノ理由デ御坐イマシタ、次ノ理由ハ政府提出来ニ曼陀線ニ改メルコトノ理由薄弱デアルカラ、矢張元ノ通りテ宜シイト云フノガ第二ノ理由デアリマシタ、其二ノ理由ヲ御賛成ニナシテ、殆ド全會一致ト云フカ大多數デ可決ニナシタ次第ニアリマス、此案ハ即チ其理由ヲ踏襲シタモノ——修正ヲ可決セレタ諸君ノ精神ヲ踏襲シタモノハ——此案其當時ノ理由ヲ簡單ナルモノニ引直シタモノガ此案ノデアリマス、隨ツテ當時修正ヲ御可決ニナシタ御精神、一貫ノ御精神デ此案ヲドウバ御賛成下サルコトヲ御願ヒ致シマス（拍手起ル）

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハ御坐イマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

第七 儀衛行政ノ中権機關擴大ニ關スル建議案 外十四名提出

右表記
（醫學博士金杉英五郎君登壇）
○醫學博士金杉英五郎君 私ハ衛生行政ノ中権機關 擴大ニ關スル建議案ヲ提出致シマシタ者アリマス、其理由ヲ極メテ簡單ニ説明致シマシテ、御清聽ヲ煩ハサウト思ヒマス、併テ本議會ノ狀況ヲ察シマスルノニ、既往ノ議會ニ較ヘテ見マスルト、大ニ其趣ヲ異ニ致シテ居リマスルコトヲ多々發見致シマシタ、即チ或ハ國本ノ樹立ヲ唱ヘ、或ハ國方ニ充實ヲ斗セ、或ハ教育ノ文教ヲ盛ミ、或ハ植民ノ發展ヲ圖リマスル等、頗ル既往ノ

○議長（大岡育造君） 御異議がなケレバ 本案ハ 議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ
決シマシタ、日程第六、山田琴平間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出
者白石直治君

者白石直治君

文學博士白在直治君登壇

○工學博士白石直治君　本案ハ各派ヲ通ジマシテ、提出者賛成者二百二十名位ニ上ツテ居ル案デ御坐イマス、私ハ提出者ノ一人トシテ茲ニ申述ヘマスガ、要スルニ右様ノ次第デ、大概諸君が御承知ノ事柄アリマスカラ、頗ル簡単ニ申述ヘマス、先づ案ヲ御紹介致シマスガ、是ハ「高知縣下山田ヨリ徳島縣池田ヲ經テ香川縣下琴平ニ至ル鐵道、政府ハ右鐵道ヲ第一期線ニ繰入レ速カニ是が建設ニ著手セラレシコトヲ望ム右建

官報號外

所アリマス、就中醫事衛生ノ學術的方面ニ於キマシテハ、實ニ顯著ナル進歩發達來シマンシタル次第アリマシテ、今日テハ申ス迄モノク、歐米先進國ニ少シモ讓ル所ナベ、室扶斯、赤痢、虎列拉、「ベスト」等ノ諸病ガ年々歲々各地ニ起リマシテ、加之其間ニハ時々發疹室扶斯、或ハ痘瘡等が勃發致シマシテ、頗ル人間ヲ惱マシテ居リマスコトニハ、皆様周知ノ事實デアリマスル、而シテ右ノ諸病ヲ未發ニ防ギ、又既ニ發シマンシタル場合ニ速ニ之ヲ制止スルト云フヤウナ例ガ、比較的今日迄少ナイコトモ、皆サン既ニ御承知ノ通りデアリマス、吾人ノ深ク遺憾トスル所ニ御坐イマス、加之初生兒ノ死亡率、壯丁ノ罹病率ガ年々歲々增加致シマシテ、赤坊ガ早く死ニマスルコトノ數が多くナリマシテ、又壯年者ノ病氣ニ罹リマスル率ガ非常ニ年々殖エテ參リマシタルヤウナ次第アリマス、殊ニ我が日本ニ於キマシテ痛歎スヘキ事ハ、好シニ壯年者ヲ侵シマリマスノデ、此初生兒ノ死亡率壯丁ノ罹病率等ハ、歐羅凹及亞米利加等ト殆ド反比例ノ状態ニアリマス、御承知ノ通り歐羅凹及亞米利加ニ於キマシテハ、最近ノ衛生状態ハ頗ル良好ニナリマシテ、初生ノ疾病ニ罹リマスル者が非常ニ減シテ參リマシタルヤウナ次第アリマスル、前申シマスル通り結核ハ非常ニ壯年者ヲ侵シマス所ノ結核病ノ年々歲々其數ヲ増スコトアリマス、例ヘバ日本全國ニ於キマシテ、毎一時間ニ十二人宛結核ノ爲ニ斃レヤウナ形ニナッテ居リマス、而シテ日本全國ヲ通ジマシテハ、常ニ百五十万人ノ結核患者ガアリマスル、我が東京市ノミニテモ常ニ十万人ノ結核患者ガアリマスル、斯ウシテ時計ヲ見テ居ル間ニ、我が同胞ハ一人宛結核病ニ依テノミ斃レテ居ル、我が東京市ニ於テハ一時間ニ一人結核病ニ斃レ、一晝夜ニ二十四人宛結核ノ爲ニ斃レヤウナ形ニナッテ居リマスル、而シテ日本全國ヲ通ジマシテハ、常ニ百五十万人ノ結核患者ガアリマスル、我が東京市ノミニテモ常ニ十万人ノ結核患者ヲ虚弱ニ陥ラシメ、作業能率ヲ減少致シマスル事ハ少ナカラザル有様デアリマス、又軍隊ニ付テ申シマスルト、日露戰爭ニ於テ調査シタル所ニ依リマスルト、軍隊ノ罹病率ハ五割ニナシテ居リマスル、然ニ今回ノ歐洲大戰亂ニ於テノ罹病率統計ヲ見マスルト、佛蘭西モ英吉利モ獨逸モ、大凡五分ノ罹病率アルト、五割ト五分ノ差ト云フモノハ、實ニ莫大ノモノデアリマシテ、其差異懸隔ハ實ニ驚クベキモノアルト申サヌハナリマセヌ、國民ノ保健衛生ニ力ヲ盡シマスル國ト、國民ノ保健衛生ヲ等閑視スル國トニ於ケル國民健康ノ度ノ差ガ、斯クマデ著シキモノアルト云フコトニ想到致シマスレバ、實ニ驚歎セザルヲ得ザル次第アリマス、諸君、申上ケル迄モノナク富國強兵ハ、國民ノ作業能率如何ニ關係致シマスル、即チ殖產興業ノ隆興ハ作業能率ト科學トノ力アリマス、國防ノ充實モ亦作業能率ト科學ノ力アリマス、而シテ作業能率モ科學モ、健康ナル身體ヲ有シ、從シテ健康ナル精神ヲ有スル者ヨリ產出セラル、モノアルト云フ事ハ、リマシテ、二三十年前ノ規模其儘ヲ襲踏シテ居リマスルヤウナ次第、或ハ或部分ニ於キマシテハ、幾分退歩シテ居ルト申シテモ差支ナインデアリマス、其退歩シテ居ル點ト申ス一例ヲ舉ゲマスレバ、往年衛生行政ニ最モ必要ナルモノト認メテ、衛生行政ヲ主宰スル所ノ内務省ノ管轄アリマシタ所ノ傳染病研究所ヲ、文部省ニ移シマシタル如キノ類リマシテ、二三十年前ノ規模其儘ヲ襲踏シテ居リマスルヤウナ次第、或ハ或部分ニ於キマシテハ、幾分退歩シテ居ルト申シテモ差支ナインデアリマス、其退歩シテ居ル點ト申ス

者ノ一様ニ認メル所デアリマシテ、吾人ノ常ニ痛歎シテ居ル所デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、興國ノ大氣運、即チ積極的進取ノ國策ト、衛生行政機關ノ施設ト隆ノ大氣運ト一致セザルガ故デアルト申スコトが出來ルト思ヒマス、歐羅巴及亞米利加ニ於キマシテ、常ニ國民ノ保健衛生ヲ重ンジマシテ、何レモ莫大ナル國資ヲ投シ、保健衛生ノ設備ヲ完ウ致シマシテ、日モ亦足ラズ盡力致シマスルト云フコトハ、皆様ノ御承知ノ通りノ次第ニアリマス、從シテ年々歲々國民ノ保健衛生上ニ、良成績ヲ挙ケテ居リマスル次第デアル、今回ノ歐羅巴ニ於ケル大戰爭ニ於テ、耐久的ノ戰爭ニ堪ヘ得ラレル、即チ耐久的ノ戰爭ノ出來ルト云フコトモ、國民健康ノ點ヨリ割出サナケバナラヌ事デアリマシテ、吾ミノ煩る者慮セネハナラヌ事デアルト考ヘルノデアリマス、諸君、今ヤ我國ハ目前ニ一大國難ノ現ハレテ居ルモノト考ヘナケレバナリマセヌ、即チ今後國際政局ノ趨勢ハ、日ニ月ニ我が帝國ヲシテ孤立無援ノ窮地ニ陥ラシタルモノアハナイコト云フコトハ、識者ノ一様ニ顧慮セネハナラヌ所デアリマス、此際ニ於キマシテ國民ノ保健衛生ノ事ハ、最モ深ク吾々ノ攻究セネバナラヌ所デアルト考ヘルノデアリマス、即チ此際國民ノ保健衛生ニ關スル根本的計畫ヲ立テマシテ、ソレニ要スル諸般ノ制度設備ヲ完ウシ、國運興隆ノ大氣運ト並行セシメ、著々積極的進取ノ實ヲ舉ゲル事が、目下ノ一大急務ニアルト信ズルノデアリマス、如上簡単ニ申述ベマシタル、事ニ付テ實效ヲ示サウト思ヒマスルニハ、種々ノ順序方法、及種々ノ制度設備ニ俟タザルベカラザルハ當然ノ事アアリマスケレドモ、要スルニ衛生行政ノ統轄機關ヲ擴大シテ、之ヲ獨立ノモノトシ、其長官タル者ハ廟堂ニ於テ、有力ナル發言權ヲ有スルモノタラシメザル可ラズト云フノデアリマス、モウ一度言換ヘ見マスレバ、衛生行政ノ統轄機關ヲ擴大シテノラ独立ノモノトシ、其長官タル者ハ廟堂ニ於テ有力ナル發言權ヲ有スルモノタラシメザルベカラズト云フノデアリマス、政府ハ宜シク速ニ此建議ノ趣旨ヲ容レラレテ、本院各位モ亦大ニ此事ニ付テ協賛ヲ與ヘランコトヲ、切ニ望ミスル次第アリマス(拍手起立)

○議長(大岡育造君) 岩崎勲君
○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレントラ望ミマス
○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者ノリ〕
○議長（大岡育造君） 御異議ガ無ケレバ 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコ
トニ決シマス——日程第八、福井縣三國港築港ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提
出者熊谷五右衛門君

第八 福井縣三國港築港ニ關スル建議案（熊谷五右衛門君外四名提出）

福井縣三國港築港ニ關スル建議案

福井縣ニ國港ハ縣下二大河川ノ湊合セル九頭龍川及竹田川ノ河口ニ位シ通舟ノ
區域甚々廣ク之ヲ交通ノ便否ハ全縣下產業ノ發展ニ影響スル所ナルノミナラス
本港ノ築港事業ハ陸ニ鐵道ヲ有スル今日海陸連絡上實ニ緊切ノ事業ナリトス依テ
政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ少クモ一千噸級以上ノ船舶出入ニ支障ナキ程度ニ於テ築
港ヲ爲シ以テ一ハ國家有事ノ際ニ備ヘ一ハ地方海陸產業ノ發展ニ資シ日本海沿

岸海陸交通ノ貿商タルニ至ラシムコトヲ望ム

右建議ス

スルヲ急務トス政府ハ速ニ其ノ計畫ヲ立て之カ遂行ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(小田切磐太郎君登壇)

○熊谷五右衛門君 唯今議題ニナツテ居リマスル福井縣三國港築港ニ關スル建議案ノ理由ヲ一言致シマス、此三國港ハ舊坂井港ト稱ヘタ事ガアツクノデアリマシテ、福井縣ノ三大川ヲ合シタル九頭龍川、之ニ竹田川ヲ合セテ日本海ニ注ケル港口ニ位シテ居ルノデアリマス、此河川ハ何レモ楫舟ノ便ガアリマシテ、北陸鐵道開通以前ニ在リマシテハ、越前國ノ米ヲ初メ其他ノ物貨ハ、總テ此港ニ集散ヲ致シ、船舶ノ出入盛ニシテ、敦賀港トノ連絡ガアリマシテ、石川縣ノ大半ニモ物資ヲ供給シタノデアリマス、即チ日本海ニ於テハ、七尾敦賀間ノ要港デアツクノデアリマス、先年九頭龍川ノ改修ヲ行ハレマシタが、然ルニ其河口タル港灣ノ設備不完全ノ儘ニ、工事ヲ切上ゲマシタ爲メニ、出水毎ニ流下セル土砂ハ潮水波浪等ノ關係ニ依リマシテ、漸次灣内ヲ埋ムルノ傾向ニナリマシタ、近年屢々三國町ノ家屋及倉庫ニ浸水スルノデアリマス、昨年ノ出水ノ如キ九頭龍川竝ニ竹田川ニ逆水致シマシテ、十數箇村ノ稻田數千町歩ニ多大ノ損害ヲ被ラセマシタ、又三國町蘆原溫泉場ノ家屋ニモ、浸水スルノ慘状ヲ呈シタノデアリマス、先年北陸鐵道金津驛ヨリ分岐ヲ致シマシテ、三國支線が海陸聯絡ノ名ノ下ニ敷設セラレタノデアリマスガ、然ルニ一方港灣ノ設備ガ無キ爲ニ、跋ノ狀態ヲ呈シテ居ルノデアリマス、昨冬ノ大雪ハ敦賀以北ノ汽車運轉ヲ停止セシメタルコト一週間ノ長キニ瓦リマシテ、數千ノ旅客ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘタルコトハ、實ニ言語ニ絶シタル事アリマシタ、若シ此時三國港完全タリシナランカ、敦賀ヨリ海運ノ便ヲ取テニ二國支線ニ連絡シ、旅客ノ苦痛ヲ免レシムル事ヲ得タノデアリマス、故ニ政府ハ此際速ニ調査ヲ遂ゲ、少クトモ一千噸級ズ、福井市及坂井、吉田、足羽、三郡ノ休戚ニ至大ナル關係ヲ及ボスノデアリマス、賢明ナル瀧場ノ諸君、何卒御贊成アラン事ヲ切ニ希望スル次第アリマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレン事ヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌケレバ、本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第九、信越線碓冰鐵道改良ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者小田切磐太郎君ト致シマス、若ハ他ニ適當ノ補助線路ヲ建設シ以テ如上ノ不便ト危險ヲ除去

第九 信越線碓冰鐵道改良ニ關スル建議案(工藤善助君外六名提出)

信越線碓冰鐵道改良ニ關スル建議案

信越線碓冰鐵道改良ニ關スル建議案

信越線横川輕井澤間ノ鐵道ハ勾配急峻ニシテ車輛ノ牽引力乏シク爲ニ貨物ノ停滞ヲ來シ運輸上不便妙カラサルノミナラス屢危険ヲ伴フノ状態タリ乃チニ根本的致改良工事ヲ施シ若ハ他ニ適當ノ補助線路ヲ建設シ以テ如上ノ不便ト危險ヲ除去

官報號外

大正七年三月十七日

衆議院議事速記録第二十四號

信越線碓冰鐵道改良ニ關スル建議案

四九七

第十 水產教育振興ニ關スル建議案(奥田龜造君外五名提出)

水產教育振興ニ關スル建議案
水產教育振興ニ關スル建議

本邦水產教育機關ノ充實ヲ圖リ以テ帝國ノ重要產業タル水產業ノ開發進歩ヲ誘導スルカ爲政府ハ相當ノ施設ヲ爲スヘシ

右建議ス

(奥田龜造君登壇)

○奥田龜造君 水產教育振興ニ關スル建議案ノ理由ヲ茲ニ述ベマス、我帝國ノ水產業ヲ實際政治ニ結合シテ、大ニ國富ノ増進ヲ圖リ、延々以テ國威ノ宣揚ニ努ムルノハ、水產開發ヲ以テ天職トシテ居ル本員ノ生命トスル所ニ御坐イマス、今此壇上ニ立テ嘗て抱懷スル所ノ所感ヲ諸君ノ前ニ訴フルノ機會ヲ得マシタノハ、本員ノ最モ光榮トスル所ニア御坐リマス、惟フニ我帝國ノ產業中最モ重要ナル產業デアルニモ拘ラズ、最モ振ハザルモノハ言フマデモナク水產業デアラウト思ヒマス、四面ヲ環ラスノニ海ヲ以テスル所ノ、即チ特殊ノ状勢ニアル我帝國トシテ、國家富強ノ基タルベキ各產業ハ多々アリマスガ、就中水產業ハ白眉トシナケレバナラスト思フノ御坐イマス、今之ヲ農業ニ、商業ニ、シメナイ域マテ進ンテ居リマセウカ、其遲々トシテ振ハザルコト、之ヲ歐米ノ盛シナルノニ較ベテ見マスレバ、甚ダ幼稚ノ域ヲ脱シテ居リマセス、實ニ邦家ノ爲ニ痛嘆ニ堪ヘナニ次第模ニ於テ、將又國民ガ理會セル程度ニ於テ、水產業ハ果シテ海國日本タルノ面目ヲ辱シメナイ域マテ進ンテ居リマセウカ、其遲々トシテ振ハザルコト、之ヲ歐米ノ盛シナルノニ較ベテ見マスレバ、甚ダ幼稚ノ域ヲ脱シテ居リマセス、實ニ邦家ノ爲ニ痛嘆ニ堪ヘナニ次第御坐イマス、諸君我が帝國が包擁シテ居ル所ノ此大海ノ水中ニハ、人類ノ生活上一日モ缺クベカラザル所ノ必要物件ヲ生産シテ居リマス、是ハ即チ鹽ト魚類海藻デ御坐イマス、鹽ハ獨逸邊リテハ陸上ノ岩鹽ヲ用ヰテ居リマスケレドモ、我國テハ重ニ之ヲ海中ノ水ノ鹹ナルモノヲ取シテ製造シテ居リマス、又魚類海藻類ハ、寒暖ノ兩流ガ最モ好適ニ沿岸ニ流レテ居リマスカラ、此兩流ニ棲息シテ居ル所ノ水族ノ種類ハ頗ル豐富デアリマント、其數量ノ饒多ナルコトハ、全世界ニ冠絶シテ居ル次第ニ御坐イマス、是ハ即チ我國ガ海國タルノ天惠ヲ遺憾ナク享受シテ居ル所以テアリマシテ、決シテ我國ガ之ヲ誇ニ於テ贅言デハナイト私ハ恩フノ御坐イマス、此天恵ニ對シテ利用厚生ノ途ヲ圖ルノハ、我帝國國民ノ天職デハ御坐イマシテ、我國モ其類例ニ漏レズシテ、矢張四面海ノ御手段ヲ講セナケレバナラナイト私ハ恩フノ御坐イマス、何トナレハ我國民ハ魚類ハ生活上ノ絶對必要品デアルト云フコトハ、申ス迄モナイコトデ御坐イマス、若シモ此魚類が無カツタラバ、吾人ハ到底一日モ生活ヲシテ居ルコトが出來ナイノアリマス、波濤ノ打ツ所ニ文明ガ御坐イマス、世界ノ開發ノ創メニ當ツテハ、何レモ此海邊カラ次第ニ陸上ニ侵入シテ來ルノテ御坐イマス、原始時代ニ於テハ殆ド人類ハ山川河海ニ在ル所ノ天產物ヲ採ツテ、之ヲ以テ生活ノ資料ニシテ居ルノテ御坐イマス、是ハ世界ヲ一貫シ歴史ノ東西ヲ通シテノ事柄デ御坐イマシテ、我國モ其類例ニ漏レズシテ、矢張四面海ノ國デ御坐イマスカラ、此海ニ依テ始メテ文明ノ發祥が來タ所以テ御坐イマス、建國二千年故ニ此生活上必要ナル所ノ魚肉ハ、我國民ニ取シテハ無限的ニ之ヲ供給シナケレバ、國民生活ナラズ、無限的ニ之ヲ供給スルトシタナラバ、即チ其價額ハ低廉デナケレバナナライ、若ル問題ガ起ル時テアリマス、國家ノ存在ハ茲ニ危殆スルト私ハ斷言スルノ御坐イマス、建國二千年間我が國民ノ血液ハ、專ラ魚肉ニ依テ養成サレテ居ルノテアリマス、若モ此血液ヲ分析シテ、魚ノ血球が吾人ノ肉體ニ無イト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、實ニ重大ナル問題ガ起ル時テアリマス、國家ノ存在ハ茲ニ危殆スルト私ハ斷言スルノ御坐イマス、

定則トシナケレバナラスト私ハ恩フノデアリマス、然ルニ此國民ガ常食トシテ居ルニシテ見マシタ時ニハ、果シテ此定則ガ完全ナリヤ否ヤト云フコトヲ、疑ハナケレバナラナイ結果が生スル次第ニ御坐イマス、ソレハドウカト云ヘバ、吾ニガ朝夕ノ一餐ニ十錢ノ價ノ米ヲ食ヘヨト云ヘバ、幾ラ今日高價ヲ唱ヘテ居リマシテモ、十錢ノ米ハ到底食フコトガ出来ナイ、然ルニ副食物トシテ無盡藏ノ此魚肉ハ、今日數倍若クハ數十倍ノ價ヲ拂ハナケレバナラナイト云フノハドウデ御坐イマセウ、是ハ私が常ニ論シ常ニ歎ズル所ニ御坐イマスガ、水產國ニアジテ斯ノ如キ高價ナル魚價ヲ拂フト云フコトハ、果シテ國民ノ生活狀態ニ安寧ヲ與ヘルコトノ出來ルモノニアリマセウカ、是ガ大ニ吾人が攻究シナケレバナラヌ問題ノ起ル所以ダト思フノ御坐イマス、果シテ是等ハ順當ナル現象ニ御坐イマセウカ、若シ是ガ順當ナル現象デナイトスルナラバ、其原因ハ那邊ニ存スルカ、又ドウシタナラバ之ヲ矯正シ、果シテ順當ナル事ヲ得ルコトが出來ルテアリマセウカ、之ヲ明カニシテヲ事實ニ行フコトハ即チ大ニ研究シナケレバナラナイ事柄ダト思フノ御坐イマス、今之ヲ農業ニ、商業ニ、シメナイ域マテ進ンテ居リマセウカ、其遲々トシテ振ハザルコト、之ヲ歐米ノ盛シナルノニ較ベテ見マスレバ、甚ダ幼稚ノ域ヲ脱シテ居リマセス、實ニ邦家ノ爲ニ痛嘆ニ堪ヘナニ次第御坐イマス、諸君我が帝國が包擁シテ居ル所ノ此大海ノ水中ニハ、人類ノ生活上一日モ缺クベカラザル所ノ必要物件ヲ生産シテ居リマス、是ハ即チ鹽ト魚類海藻デ御坐イマス、鹽ハ獨逸邊リテハ陸上ノ岩鹽ヲ用ヰテ居リマスケレドモ、我國テハ重ニ之ヲ海中ノ水ノ鹹ナルモノヲ取シテ製造シテ居リマス、又魚類海藻類ハ、寒暖ノ兩流ガ最モ好適ニ御坐イマス、此兩流ニ棲息シテ居ル所ノ水族ノ種類ハ頗ル豐富デアリマス、是ハ即チ我國ガ日水產國タル我が日本國ノ恥辱許リデハ御坐イマセス、又實ニ國民生活上ノ重大問題ヲ信ジテ疑ハヌノアリマス、十錢ノ米ニ數倍スル副食物ヲ食スルコトノ已ムナキバ、啻ニ八洲ノ渡津海ノ國ト稱ナケレバナラノアリマス、農業立國ヲ稱フル人、商工業立國ヲ稱フル人、多々アリマスガ、本員ハ水產立國ヲ絕對ニ十二分ニ稱フル理由アルコトラナイト云フ所以テ御坐イマス、豐葦原ノ瑞穗國ト我國ヲ稱シテ居リマスガ、併セテ大八洲ノ渡津海ノ國ト稱ナケレバナラノアリマス、農業立國ヲ稱フル人、商工業立國ヲ稱フル人多々アリマスガ、本員ハ水產立國ヲ絕對ニ十二分ニ稱フル理由アルコトニ於テハ必ズシモ多キヲ誇ルコトハ出來マセスガ、其他ノ點ニ於テハ眞ニ世界ノ水產國ノ巨擘トシテ、宇内ニ誇ルコトノ出來ル素質ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ斷言スルノアリマス、日本ノ地形ハ南北ニ延長シテ居リマシテ、自然廣大ナル沿岸線ヲ有シテ居ル譯ニアラウト思フノアリマス、若シ今之ヲ我國ト世界ヲ對照シテ見マスレバ、漁獲ノ產額ニ於テハ必ズシモ多キヲ誇ルコトハ出來マセスガ、其他ノ點ニ於テハ眞ニ世界ノ水產國ノ巨擘トシテ、宇内ニ誇ルコトノ出來ル素質ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ断言スルノアリマス、日本ノ地形ハ南北ニ延長シテ居リマシテ、自然廣大ナル沿岸線ヲ有シテ居ル譯ニアリマス、此沿岸ヲ流ル、所ノ寒暖兩流ノ潮流ハ、無盡藏ノ魚族ヲ包有シテ居ルノアリマス、日本人ハ此ノ天ノ無限ノ恩惠ニ浴スル譯アリマス、北ノ方ハ「オコツク」海、南ノ方ハ朝鮮及支那ノ黃海、此等ノ一大漁場ハ、世界ノ三大漁場中ノ即チ一大漁場ニアリマス、此一大漁場ハ我國ノ勢力が發展スルト共ニ、我國ノ勢力圈内ニ包有セラルノアリマス、隨シテ其有スル所ノ魚族ノ種類ハ非常ニ豐富ニアリマシテ、我が日本ノ如キハ世界ニ其匹儕ヲ見ザル程アリマス、北ノ方ハ「オコツク」海、南ノ魚類ニシテ、我國ニ產セザルモノハ一ツモナイ位アリマス、之ヲ數字ニシテ見マスレバ、日本ニハ魚ノ種類が百六十四種御坐リマス、歐米ニハ僅ニ六十七種、故ニ水產國トカツタラバ、吾人ハ到底一日モ生活ヲシテ居ルコトが出來ナイノアリマス、波濤ノ打ツ所ニ文明ガ御坐イマス、世界ノ開發ノ創メニ當ツテハ、何レモ此海邊カラ次第ニ陸上ニ侵入シテ來ルノテ御坐イマス、原始時代ニ於テハ殆ド人類ハ山川河海ニ在ル所ノ天產物ヲ採ツテ、之ヲ以テ生活ノ資料ニシテ居ルノテ御坐イマス、是ハ世界ヲ一貫シ歴史ノ東西ヲ通シテノ事柄デ御坐イマシテ、我國モ其類例ニ漏レズシテ、矢張四面海ノ國デ御坐イマスカラ、此海ニ依テ始メテ文明ノ發祥が來タ所以テ御坐イマス、建國二千年ノ親子捕ヘテ其腹ヲ割イテ見タナラバ、其數ハ殆ド計數ニ舉ケルコトノ出來ナイ位多量ナモノガアルノアリマス、サウシテ其多量ナル卵子ハ農業ノ如ク或ハ之ヲ耘リ或ハ之ヲ耕サズシテ、自然繁殖スル所ノモノニアリテ、所謂無盡藏ノ賜物トモ謂フベキモノアリマス、而モ此巨大ナル魚類、此豐富ナル所ノ食料品ヲ有スル我國ニシテ、甚ダ高價ナル魚肉ヲ食フノ徒ラニ天產物ヲ暴殄スルモノハナカト慨嘆ニ堪ヘナイノアリマス(「ヒヤー」と呼フ者アリ)諸君、世界ノ戰亂以來各國が生存ノ爲ニ非常ニ苦痛ヲ感産ノ激減シタノヲ憂フル許リノ大問題ニ非ラズシテ、實ニ世界ノ市場ニ大變動ヲ來シテ居リマスルノハ、我日本ノ大ニ注意ヲ爲サナケレバナラナイ事柄ダト私ハ思フノ御坐

「マス、幸ニシテ我國ハ交戰國ノ與國トハ言ヒマシテモ、其種々ナル産業即チ此水産業等ニ對シテ、殆ド何等ノ惡影響ヲ被シテ居リマセヌ、却テ益々發展ノ好機會ニ遭遇シテ居ルノアリマス、實ニ至大ナル幸福ト言ハナケレバナリマセヌ、諸君、誠ニ十四年ノ昔ヲ想シテ見マスレバ、十万ノ生靈ノ一十億ノ國帑ヲ費シテ得タ所ノモノハ、何デアルカト云ヘバ、「オコツク」海ノ漁業權御坐イマス、此重大ナル權利ヲ保有スル所ノ結果トシテ、自然ニ我國家ノ寶庫タル所ノ「オコツク」海カラ得ル所ノ產額ハ、年々發展シテ參シテ居ルノ御坐イマス、而シテ此「オコツク」海ニ產スル所ノ魚族ハ、歐羅巴ノ「ノースシー」ニ產スル所ノ魚族ト同ジ種類ノ魚族テアリマシテ、主ナルモノハ鰐、鮭、鰈、鱸ノ如キモノデ御坐イマス、殊ニ歐米人ハ否ナ拉丁民族ハ此鰐、鮭、鰈ヲ甚ダ好んで食スルノアリマス、此歐米人——拉丁民族ノ必需ノ食料品トシマシテ、主シテ南北兩米ニ需要サレテ居リマシテ、從來歐羅巴ノ「ノースシー」カラ出マス所ノ產額ハ、年々一億二千万圓ノ供給ヲ爲シテ、アルノアリマス、此度ハ戰爭ニ伴シテ需要供給ノ關係ニ大變動ヲ起シマシテ、今ヤ最モ缺乏ヲ告ゲテ居ルヤウナ狀態テ、我國ニ向シテ非常ナル注文ガ來ル譯御坐イマス、故ニ若シ我國が一度手ヲ此「オコツク」海ニ染メタナラバ、鰐許りデモ優ニ一億圓ノ金ヲ外國カラ取ル事ノ出來ルコトハ、容易ノ業タト私ハ信ズルノアリマス、斯カル無盡ノ寶庫ヲ保有シテ、世界最モ有數ノ天惠ヲ恵ムニシル所ノ國柄アルニモ拘ラズ、水產國トシテ甚ダ不振ノ狀態ニ在リマスノハ、國富增進ノ上カラ見テモ、實ニ由々數キ大事ダト私ハ思フノテ御坐イマス、試ニ歐洲各國ノ漁業ノ區域ヲ見マスレバ、各國ヲ通シテ其面積が約十四万里アルノテ御坐イマス、之ニ對シテ我國ハ、唯一箇國デ略、歐洲各國ニ匹敵スル所ノ區域十二一万三千方里ヲ占有シテ居ルノテ御坐イマス、然ルニ漁獲ノ高ニ至リマシテハ、僅ニ十万人ノ漁夫ヲ持シテ居ル所ノ英吉利、此英吉利ガ、現ニ三百五十万ノ漁夫ヲ持シテ僅ニ一億二四万圓ノ生產ヲ舉ケル所ノ我國ヲ、凌駕シテ居ルト云フコトヲ想ヘバ、實ニ殘念ニ堪ヘナインテ御坐イマス、又日本ノ北方ノ丁度堪察加ト同シヤウナ寒帶ノ地位ニ在ル所ノ諾威、此蕞爾タル諸威ハ、此大戰ト共ニ水產輸出ノ大策ヲ確立シマシテ、學理ヲ尊重シテ之ヲ實地實況ニ結合シマシテ、調節宜シキヲ得タル結果、殆ド此戰爭ニ對シテ平時ニ數倍スル輸出ヲ爲シテ居リマス、昨年度ノ如キハ一箇年ニ一億數千万圓ヲ、單ニ一國ノ輸出シテ居ル次第テ御坐イマス、世界有數ノ水產國ヲ以テ誇シテ居ル我が日本國ガ、過去數十年僅ニ一千餘万圓ノ輸出ヲ以テ甘んシ、時局ノ爲ニ漸ク一千万圓ノ増額ヲ以テ、ソレニ依テ晏如トシテ居ルヤウナ事デハ、此後ドウシテ此世界ノ大勢ニ應ズルコトが出來ルテ御坐イマセウカ、實ニ歐米ノ駿々タル水產業ニ對シテ、廣々面積ヲ以テ、豐富ナル材料ヲ以テ、サウシテ彼等ノ十分ノ一二モ足リナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイン次第テ御坐イマス、唯ニ世界ノ各國ハ有ユル學理ト經驗ト智識ト精力ヲ集中致シテ、戰爭ニ從事シテ居リマス、艦艇此戰ハ終結ヲ告ダルコトニナル御坐イマセウ、此時ニ際シ各國ハ共ニ貿易政策ヲ確立シテ、經濟上ノ大激戰ヲ演ズルト云フコトハ今日ヨリ火ヲ賭ルヨリ明カアリマス、此時ノ猛烈ナル事ハ、目今ノ砲煙彈雨ヨリモ激シト私ハ信シテ居ルノアリマス、我國ハ此時ニ對應スルノ準備が十分ニ順潮が果シテ永ク繼續スルコトが出來ルデアリママセウカ、是亦疑問ダラウト信ズルノアリ、即チ世界人類ノ重要問題トシテ居ル所ノ食料品問題ヲ解決スルニ於テ、最モ誇ルベキ我が

水產物ハ、天然無盡ノ資源デアリマス、此天然無盡ノ資源ヲ開發シ、此水產物ヲ捕獲致シマシテ、之ヲ我が内地ニ於テハ漁撈、貯藏、輸送ニ、其方法ヲ十分ニ研究シテ、成ベク内地人ノ食料ニ安價ニ之ヲ提供スル所ノ方法ヲ講シ、又外國ニ對シテハ之ヲ製造シテ輸出ニ努力シ、國際貿易品トシテ世界ノ需要ニ應ズルノ準備ヲ爲シタナラバ、日本ノ發展ニ從シテ優ニ一年々一億乃至二億ノ輸出ヲ見ル事ハ、容易ノ業アラウト信ズルノテ御坐イマス、然ラバ即チ我が水產業ハ、日本ノ宿命的產業デアリマセウカ、此宿命的產業ヲ措イテ他ニ何等ノ大ナル産業ハナイト私ハ信ズルノアリマス、此大ナル産業が今日ノ如ク、日本人ノ食料ニスラ高價ナル價ヲ拂ハナケレバナラナイト云フノハ、何タル反對ノ現象テアリマセウカ、甚ダ本員ノ遺憾トスル所ニ御坐イマス、是ニ付テハ色ニ原因モ御坐イマセウカ、主ニ水產ノ原理ヲ研究スル所ノ學術水產教育ガ振ハザル結果ダラウト私ハ思フノデ御坐イマス、吾輩共水產ニ熱心スル所ノ議員ハ、共ニ之ヲ談ジテ、相携ヘテ本案ヲ提出シタ次第ニ御坐イマス、詳細ナル事ハ、又委員會ニ相互通情ヲ與ヘラレントラ希望スル次第ニ御坐イマス(拍手起ル)

○西川太治郎君 議長、此際政府ニ質問シタイ事がアリマス
○議長(大岡育造君) 西川君ハ此案ニ關係シテ、政府ニ質疑ガアルト云フコトデアリマスカ

○西川太治郎君 左様デアリマス
○議長(大岡育造君) 西川君ハ此案ニ關係シテ、政府ニ質疑ガアルト云フコトデアリマスカ

○西川太治郎君 唐澤(西川太治郎君登壇)
○西川太治郎君 唯今奧田君ノ水產教育振興策ニハ、私モ滿腔ノ同情ヲ以テ賛成ヲ致シテ居ルモノテ御坐イマス、唯此際豫テ私ノ宿論トシテ居リマス、淡水魚族ノコトニ就ア、政府ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ先年來京都帝國大學ニ於キマシテ博物講座ガ御坐イマセヌ、ソレ故ニドウカ博物講座ヲ設ケタイト云フコトヲ、大學總長ニモ申シダコトガ御坐イマス、所ガ大學總長モ同感ニ御坐イマシテ、前年ノ議會ニ博物ノ講座が通過シタヤウニ私ハ存シテ居リマス、所ガ此博物講座ヲ設ケマシタ結果トシテ、琵琶湖ニ於テ實驗所ヲ豫テ設ケアリマスガ、之ヲ愈々擴張スル考アルト云フコトヲ、御坐イマシタガ、其後未ダ十分ニ是が擴張ヲ見マセヌヤウニ考ヘマス、尙又滋賀縣ニ於キマシテハ琵琶湖ノ水產督殖ノ爲ニ、從來是ハ縣ノ計畫トシテ二十萬圓ヲ投シ、尙又本年ヨリ更二十箇年計畫トシテ、十萬圓以上ヲ投シテ魚類ヲ放流スルノアリマス、斯ノ如ク一方ニ於テハ帝國大學ニ於テ實驗所ノ設ガアリ、尙又一方ニ於キマシテハ水產試驗場ノ設ガアル、ソレニ對シテ政府ハ斯ノ如ク琵琶湖ヲ利用シテ、國立水產講習所ヲ設ケルトカ、或ハ實驗所ヲ設ケルトカ、或ハ此大學並ニ單ニ地方ノ試驗所ニ委セズシテ、政府ハ魚族ノコトニ付テ之ヲ利用シテ、講習所ヲ設ケルヤウナ御意嚮ハアリマセウカ、先年河島知事ガ居リマシタ時分ニ、此事ヲ農商務省ニ御交渉フ願フタコトガ御坐イマス、所ガ財政ノ都合ニ依テ未だ出來ナイノト、甚ダ河島君モ遺憾ニ思シタ次第ニ御坐イマスガ、時運壬戌年ニ於テ居リマスカ、此際シ獨リ超然トシテ、世界第一ノ農富ナル材料ヲ包容シテ、アル、即チ水產

○國務大臣(仲小路廉君) 御質問ニ御答ヲ致シマス、今日ノ場合ニ御坐イマスカ
○水用ノ開發ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ最モ力ヲ盡シタイト存シマス、即チ水產

ノ開発トシテハ、遠洋近海ニ瓦ルコトハ勿論デアリマス、殊ニ又淡水ノ魚族ニ付キマシテモ同様デ御坐イマス、或ハ學術ノ上ヨリ又實驗實際ノ上ヨリ、兩方面ヨリ攻究ヲ致シテ、成ベク成績ヲ舉ゲ實績ヲ舉ケルヤウニ盡シタク存シテ居リマス、唯、如何ナルコトヲ此際ニスルカ、滋賀縣下ニ講習所ヲ國立トシテ置クカ、其點ハ卒爾ニ申兼ネマスガ、能ク審議攻究ヲ盡シタ上ニ、相當ノ方法ヲ致ス積リテアリマス

○岩崎勲君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタ

○岩崎勲君 日程第十一、市町村吏員優遇ニ關スル建議案ハ、是が説明ヲナスベキ荒川五郎君ノ都合ニ依リ、一時延期ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成」異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 延期ニ御異議ガナイト認メマス、仍テ延期ニ決シマシタ、日程第十一、第十二ノ議案ハ、同一委員ニ付託シアル議案ナルニ依リ、一括議題トナシ委員長ノ報告ヲ求メマス

第十一 津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案(福) (委員長報告)

○奥田龜造君 日程第十一、津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案、第十三、津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案(福) (委員長報告)

第十二 津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案(福) (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 委員長ノ報告ヲ求メマス、奥田龜造君

(奥田龜造君登壇)

○奥田龜造君 日程第十一、津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案、第十三、津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員會ノ御報告ヲ致シマス、兩案トモ委員諸君が熱心ニ御審議ナサイマシタが、津山上郡間ノ建議ノ方ニ付キマシテハ、此間ノ鐵道ハ今播美鐵道ト云フ私設會社ニ、政府が許可シテヤラセ居リマスノデ、若シ此會社が十分ニ完成スルコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、政府ニ於テ大ニ考慮スルト云フコトニ御坐イマシタ、津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案ノ方ニ付キマシテハ、是モ政府委員が經費ノ許ス範圍ニ於テ、成ベク建設スルヤウニシヤウト云フ御話デアリマシテ、兩案トモ滿場一致ヲ以テ可決致シマシテ御坐イマス、右報告致シマス

○議長(大岡育造君) 福井三郎君

(福井三郎君登壇)

○福井三郎君 別ニ反對モナイヤウデ御坐イマスシ、委員長ノ報告ニ於テ盡キテ居リマスカラ、蛇足ヲ描ク必要ハ御坐イマセヌガ、一應委員長ノ報告ヲ補テ諸君ノ御贊成ヲ求メテ置カウト思ヒマス、津山上郡間ハ委員長ノ報告ノ如ク、今私設ノ播美鐵道ニ許可シテアッテ、ソレガ工事中デアリマス、提案者ハ此鐵道ハ私設會社ノ力ニ俟ツテハ成就スルコトノ出來ナイモノト認メテ、此建議案ヲ提出致シタノアリマス、又委員會ニ於テ認ムル所モ、滿場一致ヲ以テ、本案ヲ可決致シタ次第アリマス、而シテ委員會ハ之ニ向クアーノレデ政府ノ立場カラ申マシタラ、サウカモ知レマセヌケレドモ、其期ニ達セズンバ、其會社ノ力ヲ以テ爲シ得ザルモノト認ムルト云フコトハ早計ニ屬スル、故ニ其會社が自身ノ力ヲ以テ遂行シ得ナカツタ曉ニハ、勿論私設トシテ許シタ程ノ線路アルカラシテ、不必要トハ思ハナイ、故ニ此場合ニ於テハ相當ノ考慮ヲ費サナケレバナルマイ、故ニ今日此提

案ニ反對ハ致サナイ、サリナガラ時ヲ期シテ何時カラト云フコトハ言ヘナイ、是が政府ト委員會ニ於テノ折衝ノ經過ニアリマシテ、ソレカラ智頭津山間ハ是ハ其間ハ哩數モ少ナイノアリマスシ、政府ニ於テモ無論反対ハシナイ、其前一度委員會ノ御坐イマシタ時分ニ、其模様ヲ何レカノ新聞ニ報道シテアッタ、政府ハ反対ヲシト云フコトが書イテアリマシタガ、ソレモ政府ニ質シテ見マシタ所ガ、反対デハナイ、無論有要ト認メルカラシテ、此間ニモ鐵道ヲ架設シナケレバナラヌ、唯經濟ノ工夫時期等ノ問題デアル、經濟ノ許ス場合ニ於テ、時期ノ可ナル時ヲ見テ數キタイト思ツテ居ル、斯ウ云フノガ政府ノ意見デアッタ、委員ノ見ル所ハ一人ノ異論ナク、此間ハ最モ遠ニ架設致シマシタナラバ、陰陽ノ連絡ガ始メテ極ク真直グニ貫通ラスルノアルカラシテ、寸時モ乘テ置クコトが出来ナイト云フ程ニ、急ヲ要スルモノト認メタノアリマス、サウシテ政府モ無論ソコマテノ急ヲ要スルト認メタ云フテ、同意ヲ表セザルマデ、不必要デナ、經濟ノ許ス範圍ニ於テ時期ヲ見計シテ、相當ナ考ヲシャウト云フノアリマシタカラ、ソコデ委員會ハ兩案共ニ委員長報告通り満場一致ヲ以テ可決致シタノテ御坐イマス、斯様ナ次第アールカラシテ、ドウゾ満場ノ御贊成ヲ得テ、其力ヲ以テ政府ニ此建議案ノ趣意ヲ、一日モ早ク實行フセシメタイト私ハ希望スルノ御坐イマス、宜シク御贊成ヲ希望致シマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 兩案共ニ委員長報告通り可決セラレンコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ發議ノ通り、兩案共ニ採用スルノ御異議ナキモノト認メマス、即チ可決ヲ宣告致シマス、日程第十四、平町小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ讀題ト致シマス、委員長高岡唯一郎君

第十四 平町小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案 (委員長報告)

(高岡唯一郎君登壇)

○高岡唯一郎君 諸君、唯今議題ニ上ツテ居リマスル平町小名濱間ノ鐵道建設ニ關スル委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ慎重ニ審議ヲ盡シ、且ツ

政府當局トモ十分ニ質問應答ヲ重ねマシタ結果ガ、本案ハ海陸連絡線トシテ最モ必要ナ線路アル、而シテ又我帝國產業發展上最モ急設ヲ要スル所ノ鐵道デアル、故ニ委員會ハ満場一致ヲ以テ、本案ヲ可決致シタ次第アリマス、而シテ委員會ハ之ニ向クアーノ決議文ヲ附シマシテ可決致シタ次第アリマス、其ノ決議文ハ斯様アリマス「本鐵道ノ延長ハ我國產業政策上急設ノ必要アリト認ム政府ハ速ニ建設ニ著手スヘシ」右ノ通りアリマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○岩崎勲君 本案ハ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議ナキモノト認メマス、即チ本案ハ可決ヲ宣告致シマス、日程第十五、第十六、第十七ノ議案ハ同一委員ニ付託シ、且ツ同種ノ案ナルニ依テ、一括議題トナスニ御異議ハ御坐イマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長田中隆二君

第十五 物價調節ニ關スル建議案(村松恆一郎君提出)

(委員長報告)

物價調節二關外八建議案（陸旗元太郎君
外二名提出）

卷之三

〔田中隆二君登壇〕

1

〔田中隆二君登壇〕

(拍手起ル)

卷之三

○田中隆三君 物價調節ニ關スル建議案委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上
ゲマス、建議案ハ三種類御坐イマシテ、一ツハ村松恆一郎君ヨリ御提出ノモノ、一ツハ

隆旗君外二名ヨリ御提出ノモノ、一ツハ元田肇君外四名ヨリ御提出ノモノ、此ニ奏ヲ私共ノ委員會ニ御付託ニナリマシタノアリマス、此ニツノ建議案ハ其大目的トル所ニ於テ殆ド同一デアリマス、唯降旗君外二名ノ方ヨリ御提出ニナリマシタモノニハ、些カ異ヅタ文句が入ツテ居リマシタケレドモ、其事ハ別ニ又申上ゲマス、兔毛角モ大趣意トル所大目的トル所ニ於テハ、ニ案共餘リ變リハ御坐イマセヌノアリマス、ソレ故ニ數回政府委員トノ間ニ、或ハ國務大臣トノ間ニ質問應答ヲ重ネマシタ末、小委員會ヲ開キマシテ此ニ建議案ヲ斟酌加除致シマシテ、一ノ成案ヲ作ルコトニナリマシタ、其成案ヲ委員會ノ議定付シマシタ所ガ、滿場一致ヨ以テ可決致シマシタノニアリマス、其文章ハ既ニ御手許ニ迴ツテ居リマスカラ、此處ニ改メテ私ハ申上ゲマセス、大體ニ於テ此建議案ト云フモノハ、其成案ノ文章ニ現ハレテ居リマスルが如ク、物價ノ變動ト云フコトハ、或ハ生産ノ基礎ヲ危殆ナラシムル、或ハ工業ノ根柢ニ動搖ヲ來ストカ、或ハ又國民生活上ニ不安ヲ起サシメテ、時ニ憂バキ結果ヲ來スコトナキヲ保セナイト云フヤウナ重大ナ問題デアリマズノデ、前申上ゲマスル如ク、各黨派ヲ代表スル三建議案モ出ア居ルヤウナ次第ニアリマス、又政府ニ於テモ固ヨリ其趣意目的ニ於テ御異存アルベキ咎モナシ、又國民モ大ニ之ヲ歓迎シテ居ラレル咎ノモノニアリマスカラ、何事モナク一滴千里テ通過スル事ト思ヒマシタ所ガ、通過ハ致シタニ相違アリマセヌ、又前申上ゲマシタル如ク、滿場一致ヲ以テ可決ハ致シマシタケレドモ、中々長い間ノ時間ト議論ガアリマシタコトニアリマス、其事ヲ御参考迄ニ大要申上ゲテ置ク必要ガアラウト思フ、其議論ノ起リマシタ動機ハ、降旗君外二名ヨリ御提出ニナリマシタ建議案ノ中ニ、農商務省令第一十號ト云フモノハ、物價調節ノ目的ヲ達スル——達セザルノミナラズ—其目的ト書イテアリマスケレドモ「其」ト云フノハ即チ前ヲ受ケテ居ル即チ物價調節ノコトニアリマス、其物價調節ノ目的ヲ達スルコト能ハザルノミナラズ、經濟上ノ不安ヲ招ク力ラシテ、速ニ之ヲ廢止シテ、他ニ適當ナル物價調節ノ方法ヲ執レヨト云フ文句ガアル、是が議論ノ緒口ニナリマシテ、先ツ以テ國務大臣或ハ政府委員トノ間ニ質問應答が御坐イマシタ、所ガ唯今申上ゲマシタ文句ノ中ニ、其物價調節ノ目的ヲ達スル能ハザルノミナラズト云フケレドモ政府當局ノ方カラ之ニ答辯セシムレバ、アレハ物價調節ノ爲ニ發布シタ所ノ省令デハナイ、アレハ暴利取締令デアル、或ハ幾分間接ニ物價調節ノコトニ關係ハアルカモ知レヌケレドモ、其省令發布ノ目的ハ全ク別事デアル、即チ市價ノ變動ブルヤウナ模様ヲ御坐イマシテ、餘程呆氣ナイ結果ニ陥タノアリマス、一方ハ其皆令ハ物價調節ノ目的ヲ達セヌト言ツテ論ズルケレドモ、此方ナヤ、イヤソシナコトデハナイ、關係ノナイ省令ヲ御坐ルト斯ウ云フコトニアリマスカラ、問フ者答ヘル者トノ間ハ旨ク合ヒマセ

用ニ付テ、將來慎重ナル所謂運用方ヲ望ム、斯ウ云フヤウナ希望ノ意味ノ事ハ現ハレ
マシタケレドモ、是デハ未ダ吾ミガ満足ヲスル事ノ出來ナイ所ニアリマス、唯今申上ダマシ
タル此憲法違反ト云フコトニ付キマシテハ、本案ノ所謂本會議ニ於テ、吾ミノ黨ニ居リ
マスル所ノ齋藤君、又委員會ニ於キマシテハ、松田源治君ヨリ、洵ニ理路井然タル立派
ナル御議論ヲ私共ハ拜聽スルコトが出來タノデアリマス、サウシテ私共ハ全然此兩君ノ意
見ニ賛成スル者デアツテ、即チ憲法第九條ノ獨立命令ナルモノハ、學者カラ申シマスル
ト、是ハ法令ノ共同範圍ニ屬スル所ノモノニアル、併ナガラ之ニ付キマシテハ、今マテ吾ミ
ガ聽いて居リマスルが如ク、第一ニハ大權命令ノ制限ヲ受ケナケレバナラズ、憲法ニ於キマシテモ此第三ノ事項ノ如キ
モノハ、明ニ書イテアルノデ御坐イマス、所ガ農商務省令第二十號ナルモノハ、是ハ唯
キマシテハ憲法上ノ所謂立法事項ヲ侵害スルコトハ出來ナイ、又第三ニ於キマシテハ此命令
ナルモノヲ以テ——即チ獨立命令ナルモノブ以テ、法律ヲ變更スルコトが出來ナイ、是
ハ殆ド何人モ争フ事ノ出來ナイ、事ノミナラズ、憲法ニ於キマシテ、土地收用法ノ場合ニ於テ侵害ヲ受ク
モノハ、明ニ書イテアルノデ御坐イマス、所ガ農商務省令第二十號ナルモノハ、是ハ唯
今申シマシタル兩君が明ニ述ベテ居リマスルが如ク、憲法第二十七條ノ所有權不可侵ノ
原則ニ反スル、斯ウ云フ結果ヲ來スト云フコトモ洵ニ明カデアリマス、所謂所有權ノ神聖
ナルモノハ申ス迄モナク、唯我憲法ニ於キマシテ、土地收用法ノ場合ニ於テ侵害ヲ受ク
ルノ外、殆ド法律ヲ以テモ命令ハ勿論之ヲ侵害スルコトハ出來ナイト云フコトニ、唯今ノ
法規ノ上ニハ相成シテ居ルノアリマス、之ニ第一ニ反スル、サウシテ又次ニハ營業ノ自
由ト廣ク申セハ申シテモ宜シウ御坐イマセウガ、此營業ノ自由ニ付テ憲法上多少ノ議
論アリト致シマシテモ、民法又ハ商法ニ於テ認メラレテ居リマス所ノ契約ノ自由、之ヲ躊
躇スルト云フ事ニ付キマシテハ、殆ド疑ノナイ結果デアリマス、此點ニ關シマシテ諸君が
併ナガラ此御議論ニ至リマシテハ、洵ニ失禮デアリマスルが仲小路農商務大臣ハ、未ダ
致シテアリマスル所ノ行爲ナルモノハ、民法第九十條ノ公ノ秩序、又ハ善良ノ風俗ニ反
ソレデ國民ニ於キマシテハ、決シテ契約ヲ爲シマスル考トカ、其目的トカ云フモノヲ論シ
テ、而シテ之ガ法律上有效デアル、若クハ無效デアルト云フ事ヲ決定スルモノノナクシ
テ、明カニ此法文ニ規定シテアリマスル如ク、契約ノ即チ其行爲自體ガ公ノ秩序若クハ
民法ノ解釋ヲ知ラザルモノニアルト、私ハ申上ゲテ決シテ不都合テナイト信ズルノデアル、
ソレデ國民ニ於キマシテハ、決シテ契約ヲ爲シマスル考トカ、其目的トカ云フモノヲ論シ
テ、而シテ之ガ法律上有效デアル、若クハ無效デアルト云フ事ヲ決定スルモノノナクシ
テ、明カニ此法文ニ規定シテアリマスル如ク、契約ノ即チ其行爲自體ガ公ノ秩序若クハ
善良ノ風俗ニ反スルヤ否ヤト云フコトヲ決定致シマシテ、而シテ其行爲ノ有效無效ヲ論
ズルモノニアルト云フ事ハ、殆ド言フマデモナイ事ニアリマス、此事項ニ關シマシテ農商務
大臣ハ、民法ノ第九十條ヲ引用致シテ御議論ナサルト云フコトハ、是ハ千慮ノ一失ト
マシテ御氣ガ弱キ爲メニ、斯ウ云フ憲法違反ノ省令ヲ吾ミガ前ニ控ヘマシテ、唯ダ之ヲ
申シマセウカ、甚ダ當ラザルモノニアルト致シマシテ、私共ハ之ニ贊成ヲスル事が出來ナイ、
要スルニ法律ヲ變更スル結果ヲ來シ、若クハ憲法ノ第一七條ニ違反スル行爲デアルト
云フ事ニ付テハ、是ハ私共ハ殆ト此場合ニ於テ細說スル事ヲ要シマスマイト思フノニアリ
マス、唯今委員長ノ報告ノ中ニ於キマシテ、委員會ニ於テ最初ノ中ハ憲法上ノ議論モ
出、中ニ激シイ議論モ出タノデ、御氣ノ弱イ委員長ハ此末如何ニ成行クベキカト云フ
事ニ付テ非常ニ御心配ナサレタト云フ事ニアリマスガ、是ハ御尤モデアル、委員長ニ於キ
マシテ御氣ガ弱キ爲メニ、斯ウ云フ憲法違反ノ省令ヲ吾ミガ前ニ控ヘマシテ、唯ダ之ヲ
黙ッテ過ゴスト云フ事ニ付キマシテハ、ドウモ私ハ甚ダ受取レヌ話デアツテ、ドウ云フ形勢
ニナルカト云フ事ニ付テ、委員長が御心配ニアリマスガ、是ハ御尤モデアル、委員長ニ於キ
ス、私共ハドウ云フ事ニナルカト云フ事ヲ心配致シ、而シテ其結果必ズ吾ミノ廢止スベ
シト云フ意見ガ容レラルベキモノニアルト云フ事ヲ信ジテ居ダタノアリマス、所ガ此事ニ

付キマシテハ松田源治君ガ、農商務大臣ノ説明ニ對シテ愛想ヲ盡カシタ、ドウカト申シマスルト委員會ノ速記録ヲ諸君が御覽下サレバ分ルト思ヒマスカ松田君ノ仰シャル事モ、即チ私ノ唯今申上ダヤウニ、政府が憲法上ノ根據ト、法律上ノ根據ガ悉ク無イト云フ事が明瞭ニナリマシタカラ、本員ハ頗ル滿足致シマシタ云フテ居ル、是迄松田君ノ愛想ヲ盡カサレア、議場セ斯様ナモノニ向ツテ度々説明ヲ求メタ所ガ、全ク駄目アルト云ノノデ、松田君モ沈黙ヲ守リ、私共モサウ云フ事ニ付テ議論ヲ爲サナカッタ次第ニアリマス、此意味ニ御解釋ヲ願ヒマスルナラバ、委員長ノ申シマスル如ク、此問題が無置キマス、斯様ナ理由ニ依リマシテ、私共矢張是ガ憲法違反アル、法律違反アルト云フ事ヲ考ヘて居リマスカラ、是ハドウシテモ修正動議ヲ以テ此事ヲ附加ヘテ置クノガ適當アルト云フ事ヲ信ズル第一ノ理由ニアリマス、次ニ又吾々カラ提出致シマシタル建議案ニ書イテアリマスル如ク、此省令ナルモノハ經濟ニ於キマシテモ、即チ取引ノ上ニ於キマシテモ、斯ノ如キ省令ナルモノカ有リマシテハ、是ハ經濟上ニ於テモ餘リ安定ヲ得ナリ、又取引者ニ於キマシテモ安定ヲ得ル事が出來ナリ、即チ何トナレバ唯一ノ行政官ノ見込ヲ以チマシテ、或ル別ノ法律上若クハ憲法上認メラレタル所ノ營業ノ自由、若クハ其契約ノ自由ナルモノニ付テ、粗ヒ鑿ラセラルト。フヤウナ事がアリマシテハ、是ハ甚デ安定ヲ得ル譯デハナイ、ソレデアリマスルカラ私共ハ次ノ理由ト致シマシテハ、經濟上ノ安定ヲ著シク害スル所ノ省令デアルトシテ、之ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ意見ヲ有シテ居ル者がアリマス、是モ亦委員長ノ報告ニアッタ事ニアリマスガ、暴利取締令、即チ省令第二十號ヲ以テ委員ノ或者ニ於テハ、之ヲ物價調節ノ一方法ト考ヘテ居タニ拘ラズ、政府ニ於テハ是ハ物價調節ノ爲メデナイ、唯暴利ヲ貪ラントスル者ヲ罰スル丈ノ行爲デアルト、斯ウ云フ事ヲ言シテ、甚ダ問フ者ノ所謂的ヲ外タ如キ政府カラ説明ガアックタト云フ事ヲ報告ニナリマシタガ、是モ委員長ノ仰シヤル事が甚ダ其要ヲ得テ居ラヌノデアリマス、決シテ政府ニ於キマシテハ、斯様ナ答辯ヲ致シテ居ラヌ(「シテ居ル」ト呼フ者アリ)シテ居ナイ(「居ル」ト呼フ者アリ)ソレハ委員長が更ニ其點ハ補フガ宜カラウが決シテシテ居ルト云フ事デハ満足スル事ハ出來ヌノデアリマス、ソレハ何故カト申マスト、速記録ヲ御覽ニシタラ分ル、農商務大臣ハ相場ノ平準ヲ得ル爲メニハ、斯様ナ取締ヲ爲ス事モ亦已ムヲ得ヌト云フコトハテ明言サレテ居ル、是ハ速記録ニ書イテアル、其暴利取締令ヲ發スル精神ハ何レニ在ルカト申マスレバ、是ハ主務省ト致シマシテハ、全ク物價ノ平準ヲ得ルト云フ考ニ在シタニ達ヒナイ、ソレヲ以チマシテ委員長ガ、農商務大臣ハ別ノ行爲アル、山賊ヲ取締ルが如キ、若クハ海賊ヲ取締ルが如キ意味ニ於テ、此暴利取締令ヲ控ヘタト云フヤウナ御報告ニナリマシタノハ甚ダ誤シテ居ル、是モ私ハ一言附加ヘテ置キマスノデアリマス、ソコデ吾ミ此修正動議ヲ提出致シマスル者ハ、物價調節ト云フ事ニ付テハ、勿論初ノニ申シマシタル如ク全然同意ヲ爲シ、是ハ必ズシナケレバナラヌモノデアル、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ居リマスル所ガ物價調節ノ意味ヲ以テ控ヘマシタ所ノ暴利取締令ナルモノハ、此目的ヲ達シマシスル上ニ於キマシテ、必ズ其效果ヲ舉ゲル上ニ於テ困難ナルノミナラズ、唯今申シマスガ如ク、種々ノ弊害ヲ來ス、ト云フ意味カラ申シマシテ、ドウシテモ吾ミハ是ガ廢止ヲ希望スルモノデアル、成程委員長ノ報告ノ如ク我が委員ノ中ニ於キマシテハ、此精神ナルモノガ必ズシモ惡ルイモノデナイト言フタ人モアツカレドモ、斯ノ如キ事ヲセヌナラヌモノデアルトスレバ、何故ニ議會ノ開會中デアルトスレバ、議會ニ諸シテ法律ヲ

急勅令ナルモノニ依テ之ヲ定メ、而シテ後ニ議會ノ承諾ヲ經ル途ヲ取ラナカツタカト云
フコトヲ言ウタ人アッケレドモ、政府ニ於キマシテハ之ヲ以テ憲法違反デナイ、斯ウ云
フ考ヲ持シテ居リスマルカラ、吾ニハ飽迄モ此意見ヲ保持致シマシテ、而シテ之ガ廢止ニ力
メルト云フ事が其責任デアラウト云フコトヲ信スルノアリマス、前ニ申シマシタル如ク、
委員ノ多數ノ方ニ於キマシテ、省令第一十號ハ唯其適用ニ付テ、將來慎重ナル所謂
運用ヲシテ貰ヒタイト云フ事ノミニ依テ満足スルコトハ出來ナイモノデアル、ソレヲ繰返
シテ申シテ置キマス、吾ニノ建議致シマシタル所ノモノ、中ニ於テ、物價調節ヲ圖ルト云
フコトハ提出サレマシタルニ案ニ於テ、是ハ共通點トシテ一致ガ出來ル、唯其適用ヲ進
マシメルト云フ意見、吾ニ更ニ進ンテ廢止スルト云フ意見が相違致シマシタル事ハ甚ダ
遺憾トスル所デアリマスガ、政友會ノ諸君ニ中ニ於キマシテ、吾ニノ平生最モ尊敬致
シマスル松田君、此松田君ノ憲法上ノ御議論ヲ私共が聽キマシテハ、殆ド間然スル所
ガナ、此御議論ハ必ズ政友會ノ諸君ニ於テモ、能ク観味セラレテ居ルコトグラウト考ヘ
マシテ、本日提出致シマシタル所ノ修正動議ナルモノモ、必ズ諸君ノ御贊成ヲ得ルニ違ヒ
ナイト云フ確信ノ下ニ、之ヲ提出シタ次第アリマス、ドウカ委員諸君モ御再考ヲ煩ハ
シマシテ、又委員外ノ議員諸君、全體ノ諸君モ本員ノ提出ニ御贊成相成ルコトニ資ナ
ラザランコトヲ切ニ希望スル次第アリマス

○議長(大岡育造君) 委員長ヨリ報告漏ガアルカラ、補足シタイト云フ 要求ガアリマ
ス、之ヲ許可致シマス——田中隆二君

(田中隆二君登壇)

○田中隆二君 報告ニ少シ漏シタコトガアリマスノデ、唯今森田君カラ何カ私ガ故意ニ
報告デモ不足セタカノ如ク「——」、「サウハ言ヒマセヌ」ト呼フ者アリ) 又滿場一致ヲ
以テ御贊成ニナシテ居リナガラ、突如トシテ茲ニ修正案ヲ御提出ニナリマシタヤウナ事情
ガアリマシタノデ、此成案ノ成立チマシタ事情ヲ、此際諸君ニ御報告ヲスル必要アルコト
ヲ認メマシタ(謹聽ト呼フ者アリ) 此案ヲ作リマスノニハ、憲政會ノ諸君ニ中ヨリ降旗
君ヲ代表者トシテ指名シタノアリマス、ソレカラ國民黨ノ方カラハ村松君ヲ指名シタノ
アリマス、政友會カラハ横田君、委員長ノ私モ之ニ加ハリマシテ、互ニ胸襟ヲ披イテ打
解ケタ話ヲシタノデアリマス、シテ見マシタ所ガ、先刻申上ゲタ如クニ案ト云フモノハ趣意
ニ於テ一致ラシテ居ル、大趣意大目的ニ於テハ一致シテ居ルケレドモ、唯憲政會ノ諸
君ヨリ御提出ノ案ニハ、唯今問題ニナシテ居リマス省令第一十號ノ廢止云々ト云フコト
ガアリマス、ソレノミハ全ク毛色が變シテ居リマシタ、變シテ居リマシタ故ニ、憲政會ノ諸君
ニ於テ、省令第一十號ノ廢止ヲ強テ主張セラレルト云フコトデアレバ、此案ハ否決スルヨリ仕
方ガナイト云フノガ、多數ノ意見デアッタノアリマス、ソコデ憲政會ヲ代表セラレテ居ル降
明スルト云フ事次ハ大目ニ見テ吳レ、斯ウ云フヤウナ御相談デアッタノアリマス、ソノ結果
トシテ此建議案ハ前ニ報告スルガ如ク、滿場一致ヲ以テ可決シタ、唯最後ニ全會一致
可決シタ後ニ、一ノ希望條件トシテ矢張建議案ノ本體デアリマセヌ、本體ニハ觸
ウナコトハ言ハナイ併ナガラ案ノ外ニ或ハ希望條件ト云フヤウナコトデ、吾々ノ意思ヲ表
ハラズニ希望トシテ、省令第一十號ヲ廢止スルト云フコトノ主張ヲ置クト云フコトデアツタ
ガ、ソレハ無論少數デ否決ニナシタガ、サウ云フ希望ヲ言フト云フコトハ、前ノ打合セ
ノ結果デアリマスカラ、其通り進行シテ來タノデアリマス、然ルニ今日唯今ニナシテ、今

度建議案、本體ヲ修正スルト云フコトハ、サウ云フ御考ハ無イカモ知レマセヌケレドモ、之ヲ悪ク解釋スル人アリマスト云フト、御提出案ノ否決ヲ免カレル爲メニ假リノ装ヒヲ
シテ、サウシテ此成案ヲ得テ委員會ヲ通過シ、然ル後此處デサウ云フ提案ヲナサルト
云フコトノ疑ヲ起サレテモ、辯解甚ダ御困難アラウト私ハ思フ、德義上は甚ダ穩カ
シテ申シテ置キマス、吾ニノ建議致シマシタル所ノモノ、中ニ於テ、物價調節ヲ圖ルト云
フコトハ提出サレマシタルニ案ニ於テ、是ハ共通點トシテ一致ガ出來ル、唯其適用ヲ進
マシメルト云フ意見、吾ニ更ニ進ンテ廢止スルト云フ意見が相違致シマシタル事ハ甚ダ
遺憾トスル所デアリマスガ、政友會ノ諸君ニ中ニ於キマシテ、吾ニノ平生最モ尊敬致
シマスル松田君、此松田君ノ憲法上ノ御議論ヲ私共が聽キマシテハ、殆ド間然スル所
ガナ、此御議論ハ必ズ政友會ノ諸君ニ於テモ、能ク観味セラレテ居ルコトグラウト考ヘ
マシテ、本日提出致シマシタル所ノ修正動議ナルモノモ、必ズ諸君ノ御贊成ヲ得ルニ違ヒ
ナイト云フ確信ノ下ニ、之ヲ提出シタ次第アリマス、ドウカ委員諸君モ御再考ヲ煩ハ
シマシテ、又委員外ノ議員諸君、全體ノ諸君モ本員ノ提出ニ御贊成相成ルコトニ資ナ
ラザランコトヲ切ニ希望スル次第アリマス

○議長(大岡育造君) 委員長ヨリ報告漏ガアルカラ、補足シタイト云フ 要求ガアリマ
ス、之ヲ許可致シマス——田中隆二君

(田中隆二君登壇)

○田中隆二君 報告ニ少シ漏シタコトガアリマスノデ、唯今森田君カラ何カ私ガ故意ニ
報告デモ不足セタカノ如ク「——」、「サウハ言ヒマセヌ」ト呼フ者アリ) 又滿場一致ヲ
以テ御贊成ニナシテ居リナガラ、突如トシテ茲ニ修正案ヲ御提出ニナリマシタヤウナ事情
ガアリマシタノデ、此成案ノ成立チマシタ事情ヲ、此際諸君ニ御報告ヲスル必要アルコト
ヲ認メマシタ(謹聽ト呼フ者アリ) 此案ヲ作リマスノニハ、憲政會ノ諸君ニ中ヨリ降旗
君ヲ代表者トシテ指名シタノアリマス、ソレカラ國民黨ノ方カラハ村松君ヲ指名シタノ
アリマス、政友會カラハ横田君、委員長ノ私モ之ニ加ハリマシテ、互ニ胸襟ヲ披イテ打
解ケタ話ヲシタノデアリマス、シテ見マシタ所ガ、先刻申上ゲタ如クニ案ト云フモノハ趣意
ニ於テ一致ラシテ居ル、大趣意大目的ニ於テハ一致シテ居ルケレドモ、唯憲政會ノ諸君
ニ於テ、省令第一十號ノ廢止ヲ強テ主張セラレルト云フコトデアレバ、此案ハ否決スルヨリ仕
方ガナイト云フノガ、多數ノ意見デアッタノアリマス、ソコデ憲政會ヲ代表セラレテ居ル降
明スルト云フ事次ハ大目ニ見テ吳レ、斯ウ云フヤウナ御相談デアッタノアリマス、ソノ結果
トシテ此建議案ハ前ニ報告スルガ如ク、滿場一致ヲ以テ可決シタ、唯最後ニ全會一致
可決シタ後ニ、一ノ希望條件トシテ矢張建議案ノ本體デアリマセヌ、本體ニハ觸
ウナコトハ言ハナイ併ナガラ案ノ外ニ或ハ希望條件ト云フヤウナコトデ、吾々ノ意思ヲ表
ハラズニ希望トシテ、省令第一十號ヲ廢止スルト云フコトノ主張ヲ置クト云フコトデアツタ
ガ、ソレハ無論少數デ否決ニナシタガ、サウ云フ希望ヲ言フト云フコトハ、前ノ打合セ
ノ結果デアリマスカラ、其通り進行シテ來タノデアリマス、然ルニ今日唯今ニナシテ、今

○議長(大岡育造君) 相當ノ注意ハ議長ヨリ致シマス

○議長(大岡育造君) 「何ヲ言フノダ」其他發言スル者アリ

○田中隆二君 憲政會ノ中ニ憲法違反ナリト云フ議論ガアル、若シモ憲法違反ト云
フ議論ガアッタナラハ、決議案トシテ出スノハ相當ナヘナイカトスウ云フ御意見ラシイ、吾
黨ニ於テハ百十六人ノ黨員ガアリマス、此中ニハ憲法違反ナリト云フ意見ノ人モ居ルダ
ラウシ、又是ハ別ニ憲法違反デナイト云フ人モ居ルダラウシ、是ハ銘々ノ頭ニ——銘々ノ
意見ニ屬スルノアリ(笑聲起りモウ一度黨議ヲ決定スベシ)ト呼フ者アリ) 私トシテハ
提案シタ所ノ……一寸是カラガ肝腎ノ所デアリマス

○議長(大岡育造君) 發言ヲマダ許シマセキ

○田中隆二君 「私トシテ提出シタ所ノ根本義ハ今申ス通リ茲ニ明瞭ニ書イテアルノ
デアル、是ニ依テハ所謂國家ノ經濟ヲ調節スルノ方法トシテハ不適當アルトスウ書イ
テアル、是ハ孰レノ黨派ニモ同シコトデアラウト思フ、色々議論ガアルニ相違ナリ、甲ノ議
論、乙ノ議論、銘々勝手ナル議論ヲ捉ヘテサウシテ、何故ニナサナ
カッタト云フコトハ東君ニ不似合ノコト、思ヒマス、是ハ銘々ニハ銘々ノ議論ガアル、尙ホ
一言シテ置キマスガ、我が憲政會ニ於テハ、決シテ憲法違反ト云フ黨議ハアリマセヌ、是
ハ念リ爲ニ能ク申シテ置キマス、我憲政會ノ黨議トシテハ、唯今爰ニ申上ゲタ通り、此
簡單ニ理由ヲ説明シタ此理由ノ説明が黨ノ黨議デアリマス」斯ウ云フ事ヲ此議場ニ於
テ御報告ニナシテ居リマス、委員會ニ於テハ無論森田君ナドノ御言葉ノ中カラ、憲法違
反云々ト云フコトノ御言葉モアリシマタ、アリマシタケレドモソレハ憲法違反デアルガ故ニ
廢セヨト云フコトハ、此建議案其モノニハ無イノデアリマシタ、此問題ヲ而モ其同意ニ
依テ滿場一致テ御決議ニナシタコトニ、何等觸レテ居ナイノアリマスカラ、私ハ報告ヲ
大略ニシテ置イタノアリマス、免モ角モ憲政會諸君ノ御考ハ甚ダ要領ヲ得ナリ、委員
會ニ於テ——小委員會ニ於テ唯今繰返シテ申上ゲマスルヤウナ順序ヲ經テ出來タ此成

案ニ付テ、突如トシテ修正案ヲ御出シニナリ、而モ其御同意ニナッタ御方カラ出ルニ至ツ

テハ驚クノ外ハナイノデアリマス
○武市彰一君 一寸簡単ニ報告ニ付テ質問致シタ

○議長(大岡育造君) 報告ニ付テスカ

○武市彰一君 唯今田中君ノ御趣意トシテ……

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望シマス

○武市彰一君登壇

(拍手起立)

○武市彰一君 私ノ田中君ニ對スル質問ハ、唯今ノ御報告ニ付キマシテハ、決シテ事

實デナイト云フコトノ證據ガアル(「ソレハ質問デハナイ」ト呼フ者アリ)斯様ナコトガアル、吾ミハ委員會ニ於テ省令二十號ヲ廢止スベシト云フ意見ヲ提出シテ、少數デ否決シタ

ノアル、然ルニ其御報告ハ少シモナシ、突如トシテ本會ニ於テ左様ナル意見ヲ出スノハ甚ダ不徳ダト仰セラル、ノハ、私共ハ甚ダ事實ニ違フト思ヒマス、委員諸君ハ皆御承知

デアリマセウ、ドウシテ左様ナ事實相違ノ報告ヲ委員長トシテ爲サルノデアルカ、意見ヲ御互ニ異ニスルノハ已ムラ得ヌ次第デアリマス、數多ノ點ガアリマスガ、先ツ其點カラ伺ヒタイ、ドウシテ森田君ノ發議ニ依リ、吾ミガ之ヲ贊成シテ委員會ノ問題トナリ、サウシテ少數デ否決シタモノヲ、其意見ヲ御認メニハナラナンダカ、其點ヲ先ツ御答ヲ得タイ

○田中隆二君 議長、簡単デアリマスカラ此席カラ御答致シマス

(「登壇ヲ希望シタモノヲト呼フ者多シ」)

○議長(大岡育造君) 静肅ニ願ヒマス——静肅ニ……

(「武市君モ登壇シタノデアリマスカラ登壇スベキモノデアリマス」ト呼フ者アリ)

○田中隆二君 緑返シ申上ゲマシタ如ク、本建議案ニ付テハ一ツモ修正ノ意見ハ御

坐イマセヌ、唯今武市君ノ御話ハ、唯希望條件ト云フモノヲ——本建議案ハ決議トシテ全會一致デ決議シタ後デ、唯少數ノ希望少數意見ヲ述ベタイト云フノデケレバ御述べ

ニナッタノデアル(「ノウ」「其通り」と呼フ者アリ)初カラ少數デアルカラ否決ニナルコトハ分り切ラ居ル、ソレハ態ト私ハ申上ゲナカツタケレドモ、先程更メテ補足ノ時ニ詳シ

ク申上ゲマシタ、是丈アリマス

○議長(大岡育造君) 熊谷直太君

(熊谷直太君登壇)

(拍手起立)

○熊谷直太君 諸君、私ハ委員長ノ報告ニ賛成ヲ表シマシテ、森田君ノ動議ニハ反

對ノ意思ヲ表示スル者デアリマス、森田君ノ動議ハ大正六年ノ農商務省令二十號ハ、之ヲ廢スルト云フ所ノ一ツノ附加ヲ爲シタ案デアリマス、段々承ル所ニ依シテ見マスルト

云フト、即チ委員長ノ報告ニ依シテ見マスルト云フト、憲政會カラ御提出ニナッタ所ノ案ニハ、此條項ガアッタノデアル即チ農商務省令二十號ト云フモノハ、之ヲ廢止スルト云フ所ノ案ガアッタノデアリマス、又國民黨ヨリ御提出ニナッタ所ノ案モ、我が政友會ヨリ提出シタル所ノ案モ、皆ナ物價調節ニ關スル案デアリマシテ、此二案ヲ一括シテ委

員長報告ノ通り一ツノ成案トナッタノハ、委員會ノ經過ニ徵シテ明カデアルノデアリマス、然ルニ此一括シテ成案ニナッタモノニ對シテ、憲政會諸君ト云フモノガ、修正案ヲ提出爲サルト云フコトハ、吾ミハ政治道德ノ上カラシテ怪訝ニ堪ヘヌ次第デアリマス、第一ニ

此點ヲ言明シテ置キマス、議論ハ主ニ農商務省令第二十號ヲ廢止スベキヤ否ヤト云フコトニ係シテ居リマスカラ、議論ハ此點ニ制限致シマシテ、聊カ自分ノ所見ヲ述ベテ見タ

イト思フノデアリマス、元來農商務省令第二十號ト云フモノハ、皆サン御承知ノ如ク急

激ナル所ノ市價ノ變動ヲ誘起シ、依テ暴利ヲ得ルノ手段トシテ左ニ掲グ行爲ヲ爲シタ

ル者ハイカヌ、即チ買占又ハ賣惜ヲ爲シタ者ハ、是ハ相當ニ處罰シナケレバナラヌト云フ所ノ省令デ御坐イマス、此省令が果シテ憲政會諸君ノ言フ通りニ、第一ニハ憲法ニ違

反シテ居ル、第一ニハ此省令ハ取引ノ安全ヲ害スルモノデアルカト云フ點ヲ研究スレバ、憲政會諸君ノ御提出ニナッタ所ノ案ノ良否ト云フモノモ、亦判明スル譯デアリマス、物

價調節令ノ委員會ニ於キマシテ、此省令二十號ノ實質ニ付キマシテハ、色々御討議ニナツテ居ル、其御討議ニナツテ居ル點ヲ探ツテ見マスルト、先ツは實質ニ於テ必要ナル所ノ案アル、必要ナル所ノ省令テアルト云フコトハ、略ニ一致シテ居ルノデアリマス、私共ハ其道ニ堪能ナル所ノ委員諸君ノ賢明ナル決議ニ謹シテ服シマシテ、此實質ニ亘テハ深ク論議ハシマセヌノデアリマス、森田君ノ取引ノ上ニ不安定ヲ來スト云フ議論ヲ拜聽シテ見ルト、何等根據がナイ、唯サウ思フト云フ一種ノ想像論ニ過ギスヤウデアリマスカラ、遺憾ナガラ此點ニ對シマシテハ、十分ナル辯駁スベキ所ノ本ガナイ、故ニ是ハ實質ニ於キマシテハ今申上ゲル通リニ、委員會ノ諸君ニ敬意ヲ拂ッテ、是ヲ指イテ置カウト思フノデアリマス、而シテ是ガ憲法違反デアルカ、或ハ契約ノ自由ヲ害スルモノデアルカト云フコトノ論議ヲ、少シク試ミテ見タイト思フノデアリマス、諸君、此省令二十號ニ付キマシテハ、皆サンモ御承知ノ如ク、憲法學者ニ於テ一ツノ説ノアルコトヲ思フノデアリマス、即チ其一ハ決シテ憲法違反ニアラズ、契約ノ自由ヲ害スルモノニアラズ、法律ヲ制限スルモノニアラズト云フ所ノ消極論ヲ唱ヘル所ノ論者デ御坐イマス、又一面ニハ森田君ノ御主張ノヤウニ、是ハ明ニ憲法違反デアル、命令ヲ以テ所有權ヲ制限スル所ノモノデアル、契約ノ自由ト云フモノノ阻害スルモノデアルト云フ所ノ議論デアリマス、其憲法違反デナイト云フ所ノ議論ト云フモノハ、此議場ニ於テ多ク紹介サレテ居ラヌノデアリマス、即チ此省令ト云フモノハ、憲法ノ上ニ於テモ何等不都合ハナイ、所有權ヲ制限スル所ノモノデナイン、又契約ノ自由ト云フモノハ、阻害スルモノノデナイト云フ所ノ議論ト云フモノハ、政府委員ノ外更ニ之ニ付テ論辯スル所ノモノヲ聽カヌノデアリマスガ、其論ノ根據ト云フモノヲ、聊カ茲ニ御紹介シテ見タイト思フノデアリマス、諸君、此農商務省令ノ第二十號ナル目的ハ何處ニアル、精神ハ何處ニアル、精神ハ暴利ヲ得ル——急激ナル所ノ市價ノ變動ヲ惹起セシムテ、以テ暴利ヲ得ルノ手段ヲ講シテ買占ヲヤ爾ト云フ、其行為自身ト云フモノヲ罰スル、不正ノ取引ト云フモノヲ禁ズルノガ此精神デアル、上段ノ買占ヲ爲スルト云フ行爲、買占ヲ爲サラシムルト云フ、此禁令ト云フモノハ、所有權問題トハ何等相接觸レナイト思フ、如何ナル詭辯論者ト雖モ此買占ヲ爲サシメザルト云フコトハ、所有權問題トハ何等接觸シナ、是ハ苟モ法律ノ頭ヲ有シテ居ラル、方ハ、必ズサウ御解釋ニナルニ相違ナイト思フ、況ヤ此議場ニ列ナル所ノ賢明ナル法律ニ堪能ナル諸害ト云フモノハ、必ズ爾ク解釋スルニ相違ナイト思フノデ御坐イマス、問題トナルノハドウ云フコトデアラウカト云フ、賣惜ヲ爲スノ行爲、之ヲ處罰スルト云フコトハ所有權ヲ侵害スルデナリガ、現ニ所有シテ居ル所ノ米ト云フモノヲ一例ヘハ米、米ト云フモノヲ賣惜シテ居ルト云フコト、ソレヲ罰スルト云フコトハ、所有權ノ制限ニモナレバ、又所有權ヲ侵害スルモノニ

モナル、是ハ即チ憲法ニ所謂日本帝國ノ臣民ハ其ノ所有權ヲ侵害セラル、コトナシト云フ所ノ正條ニ當ルデナイカト云フコトノ御議論ニアリマス、併シ諸君〔チヨットモ分ラヌ〕ト呼フ者アリ御分ニナラナケレバ能ク速記録テ御研究ナサイ〔速記テハ尙ホ分ラヌ〕ト呼フ者アリ此所有權ノ問題ハドウアルカト云フト、即チ民法ノ規定ニ依リマシテ法令ノ範圍内ニ於テ——法令ノ制限内ニ於テ、使用收益若クハ之ヲ處分スルノハ、此所有權ノ權利ニアリマス、憲法ニ於テ一面所有權ヲ非常ニ保護スルト同時ニ、憲法自身ガ民法ニ於テ所有權ノ或ル程度ヲ緩和シタル所ノ法律ヲ出シタル場合ニ於テハドウナル〔間違ヒダ〕「非常ニ間違テ居ル」「憲法ノ解釋ヲ誤ッテ居ル」ト呼フ者アリ

○議長（大岡育造君）靜謐ト……

○熊谷直太君 即チ民法ノ規定ニ依リマシテ、法令ノ範圍内ニ於テ、此所有權ハ之ヲ使用シ收益シ又處分スルコトヲ得ルノアリマス、故ニ此憲法第九條ニ依リマシテ、特別命令ヲ以テ此所有權ニ制限ヲ與ヘルト云フコトハ——假リニ是ハ所有權ニ制限ヲ與ヘルコトニナリマシテモ、何等私ハ不都合ハナイト思フ、諸君モ御承知ノ如ク、警察命令ノ如キ常ニ所有權ニ制限ヲ與ヘテ居ル、サウ云フ例ト云フモノハ澤山アラバ、數々切レヌ程省令ニモ出テ居ルノアリマス、諸君、此省令ニ規定スル所ノ事項ヲ、假リニ例ヲ取ッテ見マスルナラバ、ドウ云フコトニナル、極端ノ例テ舉ゲテ見マスレバ、茲ニ千万石ノ米ヲ倉ニ積シテ居ル、サウシテ賣惜ヲ爲シテ居ル、一石五十圓ア賣ラナケレバ、ナラヌト云フ決心ヲシテ居ルト假定シテ見マスルト、其社會ノ狀態——其邊ニ群ガシテ居ル所ノ群衆ト云フモノハ——某食ニ苦シム所ノ人民ハ、是ガ爲ニ一粒ヲ得ルコトが出來ナイノアリマス、此千万石積シテ所ノ米ハ、此米ト云フモノハ、吾人ヲ養フ所ノ立派ナ米デナイ〔ヒヤク〕ト呼フ者アリ、他人ノ所有權ヲ侵害スルト云フ事ニ一面カラナリマスケレドモ、警察火災豫防命令範圍内ニ於テ家ヲ壞シテモ支ヘナイノアリ、又洪水氾濫ノ場合ニ於テ、相當急救ノ方法ヲ執ッテ、他人ノ所有權ヲ侵害スル事ニ相當ノ制限ヲスルト云フ事ニ何ノ不都合ガアリマセウ、諸君モ御承知ノ如ク、警察災害豫防命令ニ於キマシテハ、家屋ヲ壞シテモ差支ナインノアリ、他人ノ所有權ヲ侵害スルト云フ事ニ一面カラナリマスケレドモ、警察火災豫防命令範圍内ニ於テ家ヲ壞シテモ支ヘナイノアリ、又洪水氾濫ノ場合ニ於テ、相当急救ノ方法ヲ執ッテ、他人ノ所有權ヲ侵害スル事ニ差支ナインノアリ、是レノ意義ト此省令トノ意義ハ何等差違ガナイノアリ、若シ貪慾ナル所ノ商人ガ自己ノ利益ヲ圖ラントシテ賣惜ヲ爲シテ居ル、千万石積シテモ億万石積シテモ、一粒ノ米モ細民ニ與ヘナイト云フナラバ、ソレハ實ニ危險十萬ナル事ニアラウト思フノアリ、即チ火事が——火災が家ヲ焼クト云フヤウナ行爲ヨリモ、尙ホ猛烈ナモノガアラバ存スルダラウト思フ、諸君ガ御承知ノ如ク此警察ノ命令ヲ以テ、所有權ノ制限ヲ受ケテ居ル、是ハ何モ法律ヲ以テ所有權ヲ制限スルノアリ、即チ警察命令ト云フヤウナモノヲ以テ、其所有權ヲ制限シ、或ハ牢獄ニ入レテ之ヲ監視スルト云フ所ノ義務ヲ所有者ニ負ハシムルノアリ、斯ウ云フヤウニ此憲法ノ上ニ於テ何等不都合ノ事ハナイト云フ所ノ議論ハ、即チ消極論ヲ執ル所ノ骨子ニナシテ居ルノアリマス、自分ハ必ずシモ此議論ニ徹頭徹尾贊成スル者デアリマセウ、併シガラ此議論ト云フモノガ、確ニ法律上ノ根據ガアルト云フ丈ハ疑ナインノアリ、現ニ是迄ト雖モ憲法ノ議論ニ關シマシテハ、種々ナル所ノ憲法違反有リヤ無シヤト云フ事ニ付キマシテハ、種々ナル所ノ議論ガアル、現ニ責任支出ノ場合ハドウアルカ、即チ憲法ノ第七十條ニ據ラナイ支出ヲシタル場合ニ、憲法違反アルカナイカト云フコトノ議論モ、今尙ホ了解セラズニ感シテ居ルノアリ、又憲法第二十二條ニ依タテ見レバ、臣民ハ法律ニ係ルニアラズンバ、逮捕監禁處罰ヲセラル、事ナシト書イテ

アルノアラウト思フノアリマス〔簡單ト呼フ者アリ〕殊ニ憲政會ノ諸君ニ申上ゲテ置キタインハ、大正三年ノ農商務省令第二十一號ハドウ云フ省令テアリマスルカト云フト、憲政會ノ御議論カラスレバ、是ハ明ニ所有權ヲ制限スル所ノ省令テアリマス、此省令ハ憲政會ノ諸君ハ如何ニ御解釋ニナルカ、吾ミノ見ル所ヲ以テスレバ、此省令モ正シク憲法ニ違反スル所ノ省令ト謂ハナケレバ、諸君ガ自己ノ内閣即チ大臣内閣ニ於テ作リシ所ノ此大正五年ノ省令ニ付キマシテハ、何等憲法違反ノ呼リヲ爲サズシテ、今日唯今現ハレタ所ノ農商務省令第二十一號ニ對シテ、憲法違反ノ呼リヲ爲サルト云フ事ハ、誠ニ大政黨ニ席ヲ置カル、所ノ諸君ニモ似合ヌ次第ト思フノアリ、其他此省令ヲ以テ所有權ヲ制限スル所ノ場合ト云フモノハ多々アルノアル、大正三年ノ農商務省令第二十二號、大正五年ノ農商務省令一號、殆ド枚舉スル事が出來ヌ程皆所有權ヲ制限シテ居ルモノガ澤山アルノアリマス、而シテ諸君ハ之ヲ責メズニ、大正五年ノ省令第一二十號ヲ責メルニ急ニシテ、自己ノ内閣ニ於テ作りシ所ノ省令ニ付テハ、憲法違反ノ呼リモ何モ爲サレヌト云フ事ハ、甚ダ政治道德ノ上カラ面白カラヌ事デハナカト思フノアリマス、吾ミハ今申上ケル所ノ見地ヨリシテ、今迄ノ慣例上斯ノ如キ實質ニ於テ、相當ノ效力アル所ノ省令、而シテ其形式ニ於テモ相當根據ヲ持テ居ル所ノ省令ニ付キマシテハ、從來ノ慣例ニ從ヒマシテ解説ヲ與ヘテヤルノガ相當アラウト云フ所ノ見解ヲ持ツ者テアリマス、吾ミモ憲法法律ノ解釋ヲ統一致シマシテ、憲政有終ノ美ヲ濟シタイト云フコトハ、諸君ト共ニ同感ノ次第ニアリマスルガ、是ハ所謂諸君ト戰時狀態ヲ離レシ時、平和克復ノ後ヲ以テ、即チ我黨ガ稅制整理ニ關シ、平和克復ノ後ヲ以テ徐ニ之ヲヤルガ宜イト言フト同一ノ意味ノ下ニ、憲政有終ノ美ヲ濟スト云フ事ハ、春秋ノ研究スルノガ相當アラウト考ヘルノアリマス、是等ノ意味ヲ以チマシテ、修正案ニ反對シテ委員長ノ報告通り賛成スル者デアリ

○議長（大岡育造君）川崎克君

〔拍手起立〕

〔拍手起立〕

○川崎克君 先程委員長カラ御報告ニナリマシタ事ニ就ア、大分ニ行違シタ點ガアル、斯ウ云フヤウニ此憲法ノ上ニ於テ何等不都合ノ事ハナイト云フ所ノ議論ハ、即チ消極論ヲ執ル所ノ骨子ニナシテ居ルノアリマス、自分ハ必ずシモ此議論ニ徹頭徹尾贊成スル者デアリマセウ、此修正動議ヲ出シマシタルコトハ、本日突如トシテ現ハレタヤウニ御報告ニアリマス、此修正動議ヲ出シマシタルコトハ、本日突如トシテ現ハレタヤウニ御報告ニアリマシタケレドモ、決シテ突如ト現ハレタノアリマセウ、ツレハ田中委員長モ御承知ノ通リ、此案ニ付テハ各派共通ノ點ガアルカラシテ、成ベク一緒ニシタイト云フ御心配カラシテ、色ミト委員長ノ御心配ニナシタコトハ、私共モ諒ト致シテ居ル、而シテ私共ノ方ニ於テ、他ノ諸君ト一致ノ出来ナイ點ガアリマスルカラ、此點ニ付テハ如何ニ致シタラナバ宜カラウカト云フコトヲ、公式ニ種々委員長ニ交渉フシタノアリ、而シテ最後ニ此議場

ニ於テ、委員長カラ私ニ君等ノ要求セラル、點ハ、如何ナル事ヲ要求セラル、ノダアルカ、
言葉テハ或ハ間違フカモ知レナイカラ、書イテ見セテ吳レヨト云フコトデアリマシタカラシ
テ、私が筆ヲ執テ、此二十號ノ廢止ト云フ事ニ付テハ、委員會ニ於テモ本會ニ於テモ
動議トシテ提出ヲ致シタインデアル、併シ本文ニ付テハ各派共通ノ意見ニアル以上ハ、
ガ、私ハ之ニ賛成スル意味ニ於テ、意見ヲ申述べテ見タイト思フノデアリマス、先程熊谷
君ノ御説ヲ拜聽致シタノテアリマスガ、熊谷君ノ御説ニ依リマスト、省令一十一號ハ憲
法上ノ違反ニアラズ、而シテ其論據ハ民法二百六條ノ所有權ノ使用收益處分ニ付テ
ハ、法令ノ制限内ニ於テ云々ト云フ彼ノ條項ニ於テ、其制限ヲ受ケルカラト云フ御議
論ノヤウニ承知致シタノテアリマス、又此意味ニ於テ大隈内閣ノ時分ニ、薬品ノ輸出ヲ
禁シマシタ事ニ對シテ、是ト同シ意味ニ於テ御論斷ノアラコト承知致スノデアリマス、
併ナガラ吾ニノ省令二十號ヲ解釋スルノト、熊谷君ノ解釋セラル、ノトハ大分其性質ヲ
異ニシテ居ルヤウニ思フノデアル、其性質ヲ異ニシテ居ルコトハ、熊谷君モ先程カラシテ此
壇上ニ於テ御述ヘニナツタ御議論ノ中ニモ、所有權ノ制限ト云フコトニ屢々御論ジニナッ
テ居リマス、吾ニハ農商務省令二十號ヲ以テ、所有權ノ制限ト云フコトノ解釋ハ致シ
テ居ラナイノデアル、吾ニハ所有權ヲ侵害サレテ居ル、賣惜ヲ爲シタル行爲ヲ強要スルト
云フ場合ニ於テ、其強要ハ明カニ侵害デアツテ、憲法第二十七條ノ所有權ヲ侵害シテ
居ルモノテアルト論斷スルノデアル、此憲法一十七條ノ規定ニ於テ、公益ノ爲メ必要ナ
ル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ルト云フコトヲ規定シテ、法律以外ニ於テ所有權ヲ強要
セラル、場合ノ無イコトヲ、明カニ規定シテ居ルノデアル、此意味ニ於テ民法二百六條
ニ依ル所ノ此法律ノ制限内ニ於テ云フ輕イ意味トハ、全く其性質ヲ異ニシテ居ルト云
フコトヲ御承知ラ願ハナケレバナラズ、吾ニハ斯様ナル意味ニ於テ、大隈内閣ニ於テ當時
出シタル所ノ省令ハ憲法違反ニアラズ、此ニ出シタル所ノ省令ハ憲法違反ナリト云フ、
憲法上ノ論據ヲ有シテ居ルノデアリマス、更ニ是ニ付テ政府側ノ憲法上ノ御議論トシ
テ、屢々農商務大臣ヨリ委員會ニ於テ御論ジニナリマシタ中、農商務大臣ハ民法第
九十九條ノ規定ニ依テ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルモノノアルカラト云フ理由ヲ以
テ、是ハ決シテ法律違反ニアラズ、法律ニ順應シテ居ルモノノデアルト云フ、斯様ナ御議論
ヲ承ッタノデアリマス、併ナガラ是ハ私共ガ屢々論ジマシタ如ク、賣惜ノ場合ニ於テ所有權
ノ處分ヲ強要スルモノノデ御坐イマスルカラシテ、トウシテモ此所有權ヲ侵シテ居ル、所有
權ノ制限ヲ侵シテ居ルト云フコトヲ、繰返シテ述ベタ如クテアリ、又此民法上ノ御議論
ヲ爲サル、ニ當ツテハ、民法九十條ノ規定ト云フモノハ、主トシテ列舉法ニ依ラズシテ、
包括的ニ此法律行爲ノ無效有效ヲ裁判官ノ自由裁量ニ任シテ居ルト云フ所ノ、裁判
ノ立法ノ精神ナルノデアリマス、此裁判立法院ニ依ル所ノ民法九十條ノ規定ヲ、單純
ナル獨立命令ヲ以テクノ侵シテ差支ナイト云フコトデアリ、獨立ノ命令ヲ以テ勝手氣儘
ニ此法律ノ有效無效ヲ決定スルコトガ出來ルナラバ、裁判立法院ニ依テ立テラレタル所ノ
民法九十條ノ規定ト云フモノハ、獨立命令ニ依テ侵サレルコトニ相成ルノデアリマス、私
共ハ斯様ナル不法ナル御解釋ヲ爲サルト云フコトハ、如何ナルモノナルカ、殊ニ農商務
大臣ガ此行爲ヲ最後迄無効ト云フコトヲ御主張ニナルナラバ、宣シイケレドモ、委員會ニ
於テ之ニ撞著セル御論辯ガアツタノデアル、ソレハ如何ナル點アツタカト申シマスレバ、武
市君カラ農商務大臣ニ御問ヲ致シマシタ時ニ、此省令ヲ以テ罰セラル、ト云フコトヲ覺

悟ノ上ニ、體刑二箇月ノ罪ヲ被ル積リテ、此法律ヲ犯ス者ガアツタラドウスルカト云フコ
トヲ御尋シタ時ニ、左様ナ事ヲ致ス者ハ無カラウケレドモ、若シ破レカブレノ事ヲ致シタラ
テ、致方が無イト、斯様ナ御答辯ニナツテ居ルノデアル、若シ農商務大臣ノ唱ヘラル、が如
ク、法律行爲ノ無効アルナラバ斯様ナ時ニ當然無効アルベキデアリニ拘ラズ、矢張契
約ヲ存續シテ行ク意味ニ於テ御答辯ニナツテ居ルノテアリマス、吾ニハ此點ニ於テ明カ
ニ撞著セル點ヲ見出スノデアル、又更ニ屢々熊谷君ノ御説ノ中ニ伺ヒマシタ警察命令
云々ト云フコトガ御坐イマシタケレドモ、是ハ憲法七十六條ニ謂フ所ノ憲法發布以前
ノ命令ニアツテ、是ハ委任命令ノ性質ニ依リテ明カニ其效力ノ存スルモノニアリマスル
以上、是以上ノ御答辯ハ致スノ必要ハナイト思フノデアル、更ニ私共ハ之ヲ廢
止スル事ニ付テノ必要ナル事ハ、啻ニ憲法上ノミテハアリマセヌ、其運用上ニ付テ
多々アルノデアリマスルケレドモ、其主ナル運用ノ上ニ於テ、甚ダ不公平デアルト云フ一事
實ヲ舉ゲテ、此省令ナルモノハ有害無益ノモノアルト云フコトヲ論斷ラ致シタインデア
ル、其事實ハ皆様モ御承知ノ通り、此麥粉ノ買占ト云フコトニ付テ、關西ニ於ケル某商店ハ、一二三箇月間ニ非常ナル大計畫ノ下ニ買占行爲ヲ爲シテ
居ルノデアリマスル、其買占メタル所ノ麥粉ノ全體ハ幾ラデアルカラト云フタナラバ、先ア輸
出ヲ致シタモノヲ引去リマシテ、現今ニ於テ尙ホ四百五六十萬袋ノモノヲ買占メテ居ル
ノデアリマス、サウシテ現在麥粉ハ一箇年幾ラ生産セラレルカラト云ヘバ、一箇年千九百
万袋デアル、而シテ今日輸出ヲ致シタモノノ及消費セラレタルモノヲ引去レバ、後ノ残リハ
僅ニ七百四五十萬袋ノ中デ、某商店が此中ニ四百五六十萬袋ヲ買占メテ居ルノデア
リマスカラシテ、其結果トシテ昨年ノ九月ニ一袋ニ圓六十錢デアリシ小麥粉ガ、本年一
月ニ入ラテ四圓十錢トナリ、一月中旬ニ於テハ五圓ハ十錢トナリ、更ニ六圓ヲ超エ、今
日ハ又五圓何十錢ヲ呼ハッテ居リマスル、之ヲ昨年ノ九月ノ當時ニ比較致シマシタナラ
ベ、七八割ノ暴騰ヲ致シタノデアル、斯ノ如キ暴騰ヲ致スベキ原因ハ明カニ某商店ニ依フ
テ時カレタル事實ガアルニ拘ラズ、此事實ニ對シテハ、農商務省ハ何等ノ手續ヲ御執リ
ニナツテ居ラナイデハナイカ(拍手起ル)ソレヲ、明カニ國民ノ法廷デアル所ノ帝國議會ニ
於テ、此事實ヲ裁斷ラ致シタナラバ、明カニ省令二十號ヲ適用スベキモノナリト云フ断定
ヲ得ル事ハ明カデアル、然ルニ私共ハ之ニ付テ委員會ニ於テ、農商務大臣ニ御尋ラ致
シタ所ガ、目下調査ヲ盡シ、ソレド、途ヲ盡シテ居リマスルト云フ事ノ御答ヲ得タノミテ
アリマスル、斯様ナ重大ナ事柄ガアルニ拘ラズ、之ヲ其儘ニシテ置カレル、岡某ナル者ガ
大阪ニ於テ一万一千五百石ノ買占ヲ爲シタ、其當時米ハ幾ラアツカト云フタナラバ、
朝鮮米日本米ヲ合セテ十九萬石ハ在ツタノデアリマス、僅カ十分ノ一足ラザル買占行
爲ヲ爲シタルノ故ヲ以テ、此岡某ナル者ニ處罰ヲ爲シ、七百万袋在ル所ノ小麥粉ニ對
シテ、四百八十万袋ノ多キモノヲ買占白ラ爲シタル者ヲ罰セザル所ノ理由ハ何處ニ在ル
カ(ヒヤー)ト呼ヒ拍手起ル吾ニハ斯ノ如キ客觀的ノ材料ガ陳列セラレテ居ツモ、
猶ホ罰セラレヌト云フノハ、是ハ一二行政官ノ主觀的ノ判断ニ依ルノデアルト云フノ御
答辯ナル、斯ノ如ク主觀的ノ判断ニノ依テ重キ者ハ罰セラレズ、輕キ者ハ罰セラル
ノデアリマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 議長

- 議長(大岡育造君) 岩崎君
 ○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議が出来マシタ、御異議ハアリマセヌカ
 (「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、仍テ討論終結ノ動議ハ成立チマシタ
 ○岩崎勳君 議長
 ○議長(大岡育造君) 岩崎君
 ○岩崎勳君 二案ヲ一括シテ、委員長報告ニ對スル森田茂君提出、修正動議ハ之ヲ否決シ、委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通り可決セラレムコトヲ希望致シマス
 ○岩崎勳君 三案ヲ一括シテ、委員長報告ニ對スル森田茂君提出、修正動議ハ之ヲ否決シ、委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通り可決セラレムコトヲ希望致シマス
 (「贊成々々」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 先ツ森田君ノ修正案ヨリ決ラ採リマス、即チ「大正六年農務省令第二十號ヲ速ニ之ヲ廢止スヘシ」ト云フ項ヲ加ヘルト云フコトニ、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
 ○議長(大岡育造君) 少數、否決——委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り採用スル建議案ヲ併セテ議題トナシ、報告ヲ受クルニ御異議ハアリマセヌカ
 ○議長(大岡育造君) 日程第十八、沖繩縣特別自治制撤廢ニ關スル建議案、奥田榮之進君
 (「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 異議ナケレバ一括議題トナシ 委員長ノ報告ヲ求メマス、奥田榮之進君
 (奥村榮之進君登壇)
 第十八 沖繩縣特別自治制撤廢ニ關スル建議案 (委員長報告)
 (奥田榮之進君外二名提出)
 第十九 鹿兒島縣大島郡島嶼町村制撤廢ニ關スル建議案(林爲良君外二名提出)
 (奥村榮之進君登壇)

衆議院議事速記録第一一二號正誤						
頁	段	行	誤	正	頁	段
四六九	下	一〇	最モ單位	最モ低位	四六九	下
						二

年志願 一年志願兵

- 此二案ヲ可決シタ次第アリマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)
 ○岩崎勳君 議長
 ○議長(大岡育造君) 岩崎君
 ○岩崎勳君 兩案共ニ委員長報告ノ通り、可決セラレムコトヲ希望致シマス
 ○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ御説ノ通り、別ニ御異議ハアリマセヌカ
 (「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ兩案共ニ採用可決スル事ニ決シマシタ
 ○岩崎勳君 議長
 ○議長(大岡育造君) 岩崎君
 ○岩崎勳君 日程第二十以下ノ請願事件ニ對シマシテハ、委員長ノ都合ニ依リ、延會ノ動議ヲ提出致シマス
 ○議長(大岡育造君) 岩崎君
 ○議長(大岡育造君) 延會ニ御異議アリマセヌカ
 ○議長(大岡育造君) 御異議ハ無イト認メマス、仍テ延會ニ決シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
 (「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
 ○議長(大岡育造君) 延會ニ御異議アリマセヌカ
 ○議長(大岡育造君) 御異議ハ無イト認メマス、仍テ延會ニ決シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
 午後五時一分散會